

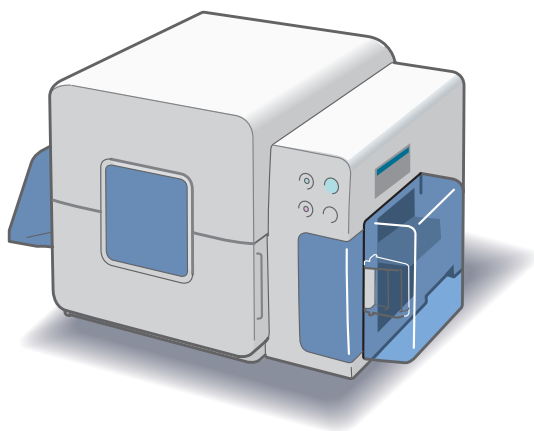
**Canon**

# CX 350/CX 320

COLOR CARD PRINTER

## USER's GUIDE

ユーザーズガイド



ご使用前に必ずこのユーザーズガイドをお読みください。  
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

© CANON FINETECH INC. 2006-2007  
PUB. 4Y1-8494-030

# ガイドと CD-ROM の使いかた

## スタートガイド（同梱の冊子）

本製品を初めてお使いになるときは必ずお読みください。

スタートガイドは、本製品を安全にお使いいただくための注意事項や、プリンタを使用するまでに必要な準備（ソフトウェアのインストール方法など）について説明しています。

## プリンタソフトウェア（同梱の CD-ROM）

プリンタドライバ、ユーザーズガイドが収録されています。

### ■プリンタドライバ

本製品を Windows Vista/Windows XP/Windows 2000/Windows Me で使用するためのプリンタドライバ、および付属ソフトウェアです。

プリンタドライバのインストール方法については、スタートガイドをお読みください。



- Windows Me は、CX 350 のみの対応となりますのでご注意ください。

- ・ CX 350 の場合：Windows Vista/XP/2000/Me で使用できます。
- ・ CX 320 の場合：Windows Vista/XP/2000 で使用できます。

### ■ユーザーズガイド

本製品の具体的な操作方法を説明した電子マニュアルです。

基本的な印刷手順、メンテナンスの方法、困ったときの対処方法、そして、プリンタ本体やプリンタドライバに関するすべての機能を説明しています。

ユーザーズガイドをご覧になるには Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。

お使いのコンピュータに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールを行ってください。

ユーザーズガイドのインストール方法や読み方についての詳細は、スタートガイドをお読みください。

### ■ヘルプ機能

本製品では、スタートガイドやユーザズガイドのほかにも、プリンタドライバの操作中にヘルプ機能によってプリンタの機能や操作、困ったときの対処方法などを見ることができます。

ヘルプ機能は、プリンタドライバの画面にある [ ヘルプ ] （またはメニューの [ ヘルプ ] ）でご利用になれます。

# 目次

## はじめに

マークについて .....	1
掲載画面およびイラストについて .....	1
商標について .....	2
略称について .....	2
お客様へのお願い .....	2
電波障害規制について .....	3
国際エネルギースタープログラムについて .....	3

## 安全にお使いいただくために

心臓ペースメーカをご利用の方へ .....	4
保管・設置場所について .....	4
電源および電源コードについて .....	6
取り扱いについて .....	8
移動時の注意について .....	10
インクカートリッジ・インク回収タンクについて .....	11

## 1 お使いになる前に

1.1	各部の名称と働き .....	13
	正面 .....	13
	背面 .....	14
	操作パネル .....	15
	本体内部 .....	16
1.2	コンピュータと接続する .....	18
1.3	電源を入れる / 切る .....	20
	電源を入れる .....	20
	電源を切る（日常の終了） .....	21
	電源を完全に切る .....	22

1.4	用紙をセットする .....	23
1.5	用紙幅を調整する .....	29
<b>2</b>	<b>印刷のしかた</b>	
2.1	印刷データの作りかた .....	31
2.2	印刷を行う .....	34
2.3	印刷を中止する .....	36
<b>3</b>	<b>プリンタドライバの使いかた</b>	
3.1	プリンタドライバのダイアログボックスを表示する .....	38
	アプリケーションソフトから表示する .....	38
	[スタート] メニューから表示する .....	41
3.2	【基本設定】シートを利用する .....	44
	印刷部数を決める .....	45
	印刷設定を登録する .....	46
	登録されている印刷設定を使う .....	50
	バージョン情報を確認する .....	51
3.3	【用紙設定】シートを利用する .....	52
	用紙サイズを選ぶ .....	53
	用紙サイズを自由に設定する .....	54
	用紙の種類を選ぶ .....	56
	印刷の向きを選ぶ .....	57
3.4	【色設定】シートを利用する .....	59
	原稿に合った色調整を選ぶ .....	60
	明るさを調整する .....	62
	シャープネスをかける .....	63
	レベル補正を行う .....	63
	単色で印刷する .....	64
	カラーバランスや濃度を調整する .....	65

3.5	【ユーティリティ】シートを利用する.....	67
	スリープ状態に切り替える .....	68
	スリープタイマの設定時間を変更する .....	69
	特殊な設定を行う .....	70

## 4 ステータスマニタの使いかた

4.1	ステータスマニタを表示する.....	72
	ステータスマニタを起動する .....	72
	ステータスマニタの起動と表示方法 .....	73
4.2	ステータスマニタを利用する.....	76
	印刷状況を見る.....	77
	ステータス情報を見る.....	78
	インク情報を見る.....	81

## 5 メンテナンスのしかた

5.1	ヘッドをクリーニングする .....	83
	通常のクリーニングを行う .....	83
	強力なクリーニングを行う .....	85
5.2	ヘッド位置調整を行う.....	86
5.3	インクカートリッジを交換する.....	91
	使用済みインクカートリッジ回収のお願い .....	96
5.4	インク残量警告表示をリセットする .....	97
5.5	インク回収タンクを交換する.....	101
	使用済みインク回収タンク回収のお願い .....	105
5.6	プリンタの清掃.....	106

## 6 困ったときは

6.1	メッセージが表示されたとき .....	110
6.2	用紙が詰まったとき .....	116
6.3	思ったとおりに動作しないとき .....	119
6.4	思ったとおりの印刷結果にならないとき .....	126

## 7 付録

付録-1	移動について .....	129
付録-2	プリンタドライバをアンインストールする .....	133

仕様 .....	135
----------	-----

索引 .....	137
----------	-----



## 目次



# はじめに

このたびは、カラーカードプリンタ「キヤノン CX 350/CX 320」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本製品の機能を十分にご理解いただき、効果的にご利用いただくため、ご使用になる前に本書をひととおりお読みください。

本書では、本製品をご活用いただくための情報が説明されています。

## マークについて

本書では、次のようなマークを使用しています。



取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。



取り扱いを誤った場合に、障害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。



取り扱いを誤った場合に、製品の故障や損傷、品質の低下が発生する恐れのある禁止事項が書かれています。快適に使用していただくために、必ずこの禁止事項をお守りください。



操作の参考になることや補足説明が書かれています。お読みになることをお奨めします。



操作の手順に対する補足説明が書かれています。操作の参考にしてください。

## 掲載画面およびイラストについて

- 本書では、プリンタドライバの設定画面およびイラストは原則として CX 350 プリンタを Windows 2000 の環境で使用する例を記載しています。基本的に本プリンタドライバの画面の表示内容や操作のしかたは、Windows Vista、Windows XP、Windows Me および CX 320 プリンタでも同様ですが、内容や操作が異なる場合は、それぞれの場合に分けて説明しています。
- 操作パネルのキー（ボタン）は、[ ] キーと表記しています。  
例：[RESET] キー

### 商標について

- Canon、Canon ロゴは、キヤノン株式会社の登録商標または商標です。
- Microsoft<sup>®</sup>、Windows<sup>®</sup>、Windows Vista<sup>®</sup> は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Acrobat Reader は、Adobe Systems Incorporated の登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されている会社名、商品名は各社の登録商標または商標です。

### 略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

- Microsoft<sup>®</sup> Windows<sup>®</sup> Millennium Edition 日本語版を Windows Me と表記しています。
- Microsoft<sup>®</sup> Windows Vista<sup>®</sup> 日本語版を Windows Vista と表記しています。
- Microsoft<sup>®</sup> Windows<sup>®</sup> XP 日本語版を Windows XP と表記しています。
- Microsoft<sup>®</sup> Windows<sup>®</sup> 2000 日本語版を Windows 2000 と表記しています。
- Microsoft<sup>®</sup> Windows<sup>®</sup> を Windows と表記しています。

### お客様へのお願い

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。

関連法律

刑法 第 148 条、第 149 条、第 162 条  
通貨及証券模造取締法 第 1 条、第 2 条  
等

- 本書の一部または全部を無断で転載する事は、禁止されています。
- 本装置および付属ソフトウェアの仕様や本書に記載されている内容は、将来予告なしに変更される場合があります。
- 本書は内容について万全を期していますが、万一不審な点や誤り、記載もれなどでお気づきの点がございましたら、お客様相談センターまでご連絡ください。
- 本装置および付属ソフトウェアを運用した結果につきましては、上記に関わらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## 電波障害規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置をラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本装置は、事務所等で使用される装置ですが、電波障害規制（VCCI）では、家庭環境でも使用でき得る規制値を満足しています。

## 国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしてオフィス機器に関する日本および米国共通の省エネルギーのためのプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費が比較的少なく、その消費を効果的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により、参加することができる任意制度となっています。対象となる製品は、コンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリ、複写機、スキャナ及び複合機（コンセントから電力を供給されるものに限る）で、それぞれの基準並びにマーク（ロゴ）は、日米で統一されています。



# 安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくために、以下の注意事項を必ずお守りください。

## 心臓ペースメーカーをご利用の方へ

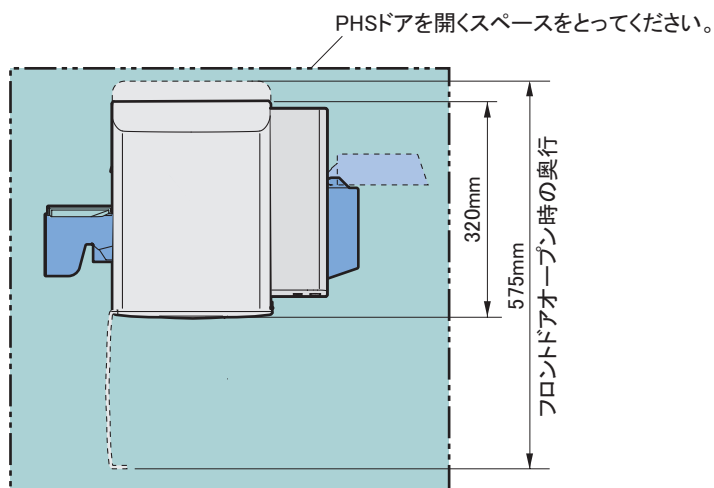
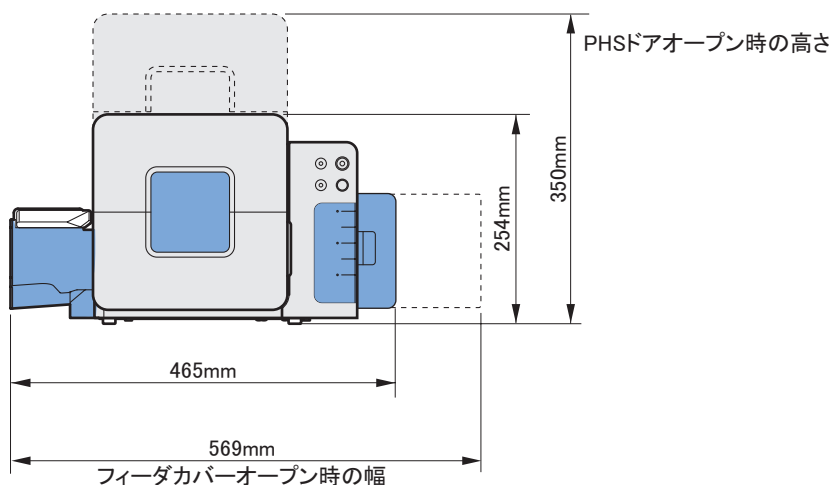


警告

- 本製品からは微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたら本製品から離れてください。本製品のご利用にあたっては、医師にご相談ください。

## 保管・設置場所について

設置スペースは十分にとりください。



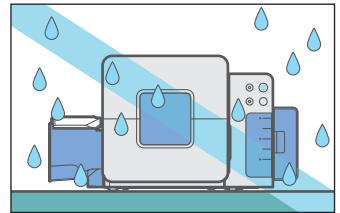


- 本機の上や近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などが入った容器、または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災、感電・故障の原因となることがあります。
- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が機械内部の電気部品などに接触すると火災や感電の原因になります。

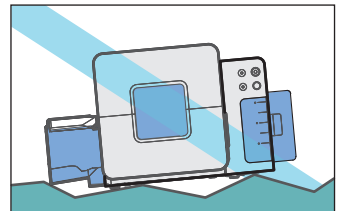


- 次のような場所でのご使用は避けてください。

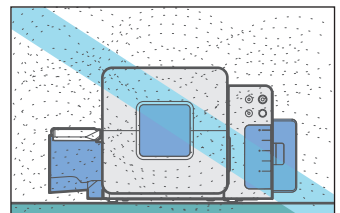
- 潮風が当たる場所や湿気の多い場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。また、部屋を急激に暖めた場合や、暖かい部屋へ本機を移動した場合、内部に水滴（結露）が生じることがあります。この場合は、一時間以上放置して周囲の温度や湿度に慣らしてから使用してください。



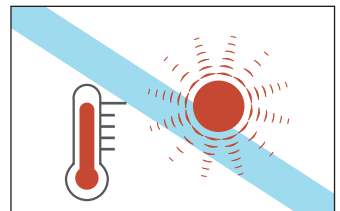
- ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。また、本機の上に重いものをのせないでください。置いたものが倒れたり、落ちてけがの原因となることがあります。



- ホコリの多い場所や潮風が当たる場所など塩分の多い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。また、水道の蛇口付近や水気のある場所に置かないでください。感電の原因となることがあります。

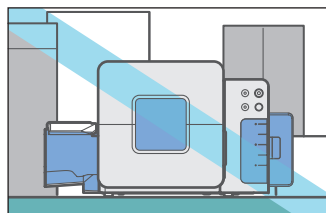


- 直射日光が当たる場所やエアコンの側、車の中などのように、温度変化の激しい場所には置かないでください。火災・故障の原因となることがあります。



## 安全にお使いいただくために

- 指定された温度・湿度で使用してください。暑すぎたり寒すぎたりすると本機が正常に動作しないことがあります。  
設置環境: 温度 15℃～30℃、湿度 10%～80%(ただし結露なきこと)
- 強い磁気を発生する機器の近くや磁界のある場所には設置しないでください。誤作動や故障の原因となることがあります。
- 本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。また、いつでも電源プラグを抜けるように、コンセントの周りにはものを置かないでください。非常時に電源プラグを抜けなくなります。



## 電源および電源コードについて



- 付属の電源コード以外は使用しないでください。火災・感電・故障の原因になります。
- 延長コードは加熱・発火の危険があるので使わないでください。
- タコ足配線はしないでください。火災・加熱の原因となります。
- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると火災・感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。重いものをのせたり、加熱させたり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだ（芯線の露出、断線など）場合は、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 近くに雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いてご使用をお控えください。雷によっては火災・感電・故障の原因となります。
- 電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントに溜まったほこりや汚れを乾いた布で拭き取ってください。ほこり、湿気、油煙の多いところで、電源プラグを長期間差したままにすると、その周辺に溜まったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。

- アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。

**アース線を接続してよいもの**

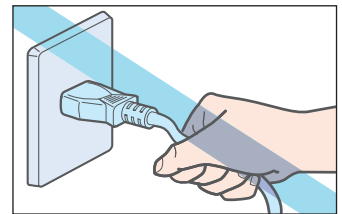
- コンセントのアース端子
- 接地工事（D 種）が行われているアース端子

**アース線を接続してはいけないもの**

- 水道管は配管の途中でプラスチックになっている場合があり、その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。
- ガス管はガス爆発や火災の原因になります。
- 電話線のアースや避雷針は落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因となります。



- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷ついて火災・感電の原因となります。



- 長期間本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- いつでも電源プラグを抜けるように、電源プラグの周りにはものを置かないでください。非常時に電源プラグを抜けなくなります。
- アース線を接続してください。アース線を接続しないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因となることがあります。
- 指定された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、接続するコンセントの電源容量に十分余裕があることを確認してください。火災・感電・故障の原因となります。

電源電圧：AC100V

電源周波数：50/60Hz

消費電力：CX 350 120W（最大）

スリープ状態時 9W

CX 320 100W（最大）

スリープ状態時 9W



禁止

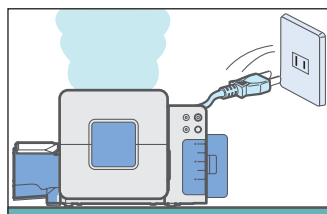
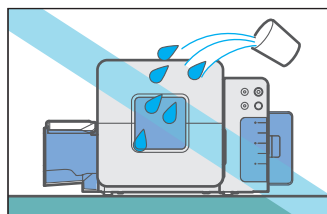
- 電源を切るときは、本機が停止し、スリープ状態にしてからメイン電源スイッチをオフにしてください。
- 頻繁に電源スイッチを入／切を繰り返さないでください。故障の原因となります。またメイン電源スイッチを切った場合には、5 秒以上の間隔をおいてからスイッチを入れてください。

## 取り扱いについて



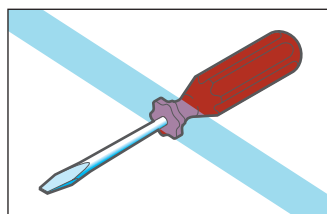
警告

- 大量のインク漏れを発見した場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 本機に水や引火性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナーなど）が入ったりしないよう、またぬらさないようにご注意ください。万一、内部にこれらの液体が入った場合は、まず、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
- 煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してお買い上げの販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから、絶対におやめください。
- 本機を清掃するときは、水を含ませて硬く絞った布で汚れを落とした後、から拭きしてください。アルコール、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が機械内部の電気部品などに接触すると火災や感電の原因になります。



注意

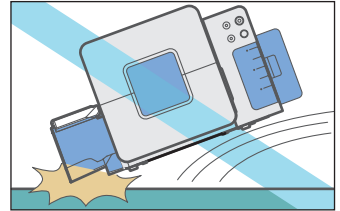
- 本機を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。



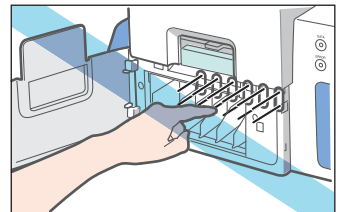
- 開口部から内部に金属類を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。万一、異物が本機の内部に入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。



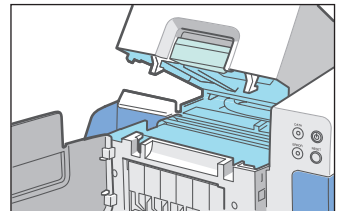
- 万一、本機を落としたり、破損した場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。



- 本機の近くでは可燃性のスプレーを使用しないでください。スプレーのガスが本体内部の電気部品などに接触すると、火災・感電の原因になります。
- 本機のカバーは外さないでください。感電の恐れがあります。
- 清掃の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。誤って動作した場合、けがや故障の原因になることがあります。
- インクカートリッジ挿入部の奥には針部があり危険です。指を入れたりしないでください。けがや故障の原因となります。



- ヘッド周辺（図のブルーの部分）に手を触れないように注意してください。故障やけがの原因となります。



- 電源コードやケーブル、本体開口部、本体内部のギア・ベルト・ローラ・電気部品に子供が触れないように注意してください。けがや故障の原因となります。
- 給紙トレイが動作しているときは、トレイに触れたり、下部に手を入れたりしないでください。故障やけがの原因となります。
- 動作中にフロントドアを開けたり、電源を切ったり、電源プラグを抜いたりしないでください。故障の原因となります。



禁 止

## 安全にお使いいただくために

- 印刷中にメイン電源スイッチをオフにしないでください。プリントヘッドの保護動作が正常に行われず、故障の原因となります。またインクが漏れて衣服や周囲を汚すことがあります。
- PHS ドアに無理な力を加えたり強い衝撃を与えないでください。故障の原因になったり印刷品質に悪影響を与えることがあります。また PHS ドアはゆっくりと開閉してください。

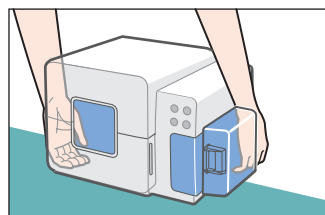
## 移動時の注意について



- 長距離の輸送や振動の伴う輸送（自動車等）を行うときは、事前に販売店にご相談ください。必要な処置を行わずに輸送による振動、衝撃などを与えますと、機械に損傷を与え、火災・故障の原因となります。



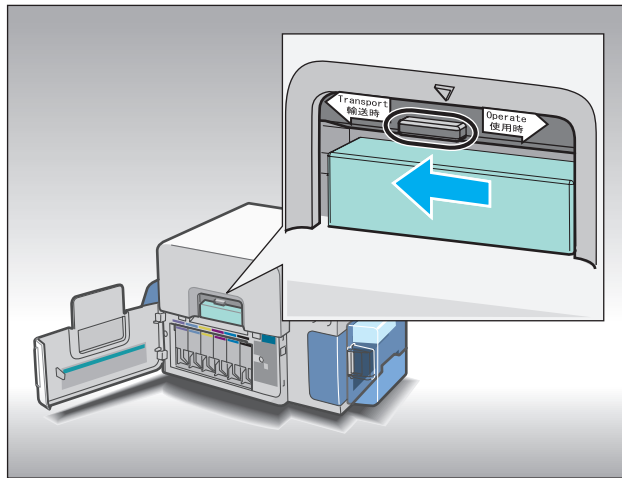
- 建物内で本機を移動させるときは、電源プラグをコンセントから抜き、接続されているケーブルをすべて外したことを確認の上、行ってください。
- 本機は約 13kg の重量があります。持ち上げるときは、正面からかかえるように持ち上げてください。無理な体勢で持ち上げようとすると、落としてけがをする原因となります。また、フィーダカバーやスタックを持つと破損する恐れがあり、落としたりしてけがの原因となります。
- 本機は水平を保ったまま静かに移動してください。移動によりインクが本体内にこぼれると、火災・感電・故障の原因となります。
- 本機を移動または輸送するときは、インクカートリッジを取り出す必要はありません。移動または輸送する前に取り出してしまうと、インクカートリッジ挿入部の奥の針部からインクが漏れて衣服や周囲を汚すことがあります。





禁 止

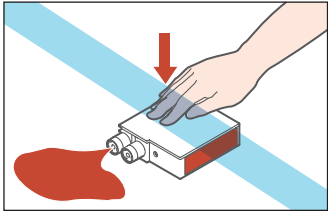
- PHS ストップパを使用時位置にした状態で、本機を移動または輸送しないでください。プリントヘッドの損傷の原因となります。
- 本機を移動または輸送するときは、PHS ストップパを輸送時位置に切り替えてください。移動が済んだら使用時位置に戻してください。



## インクカートリッジ・インク回収タンクについて



注 意

- 保管の際は子供の手の届かない場所に保管してください。誤飲等の事故につながります。もし飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。
  - ・ インクが目に入った場合は、直ぐに多量の流水で洗浄し、もし刺激が残るような場合には、医師の診断を受けてください。
  - ・ インクが皮膚についた場合は、水と石けんでよく洗浄し、もし刺激が残るような場合には、医師の診断を受けてください。
- インクカートリッジおよびインク回収タンクを強い力で押さえたり、落としたりしないでください。インクが漏れて衣服や周囲を汚すことがあります。
- 内部にはインクが入っていますので、絶対に分解したり改造したりしないでください。インクが漏れて衣服や周囲を汚すことがあります。



禁 止

- 「インクなし」エラーになる前に、新しいインクカートリッジに交換しないでください。ステータスモニタ上のインク残量メッセージを正しく表示できなくなります。万が一交換したときは、交換した直後に「インク残量警告表示リセット」を行ってください。

➔ 5.4 インク残量警告表示をリセットする (P.97)

- インクカートリッジおよびインク回収タンクは、交換するとき以外は抜き差ししないでください。部材の消耗を早める原因となります。
- 新しいインクカートリッジに交換するときはタグカードを持ち、テープを剥がしてからプリンタにセットしてください。剥がさずにセットすると、プリントヘッドの損傷の原因となります。

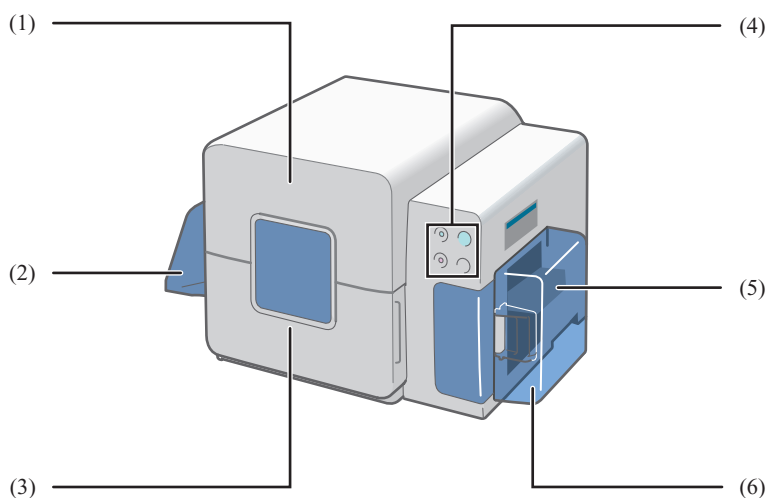
# お使いになる前に

本製品をお使いになる前に、印刷を行うまでに必要な準備や、覚えていただきたい基本的な事柄について説明します。

## 1.1 各部の名称と働き

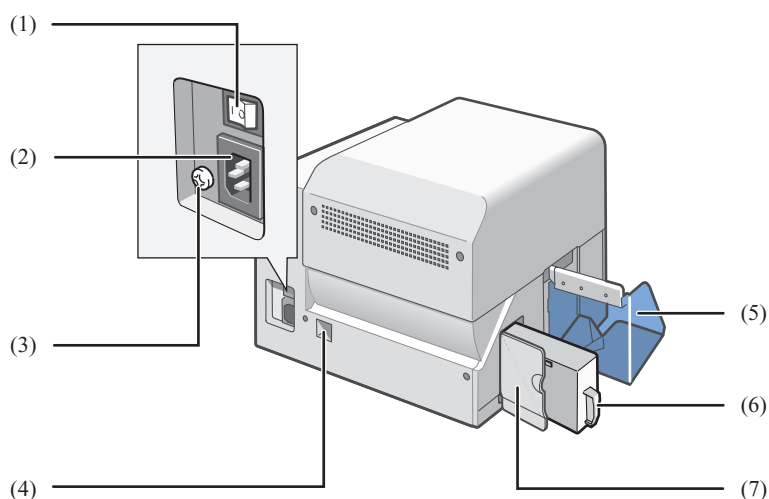
本機の各部の名称と働きは、次のとおりです。

### 正面



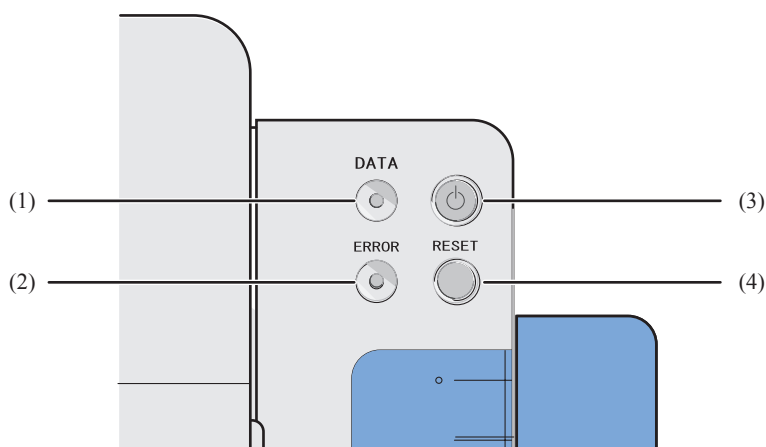
- (1) **PHS ドア**  
搬送路に詰まった用紙を取り除くときや、内部を清掃するときに開きます。
- (2) **スタッカ**  
印刷された用紙が排出されます。
- (3) **フロントドア**  
インクカートリッジを交換するときに開きます。
- (4) **操作パネル**  
プリンタの動作を切り替えるキーとプリンタの状態を示す表示ランプの部分を指します。
- (5) **フィーダユニット**  
用紙をセットします。フィーダカバーを開け閉めすると、給紙トレイは自動で昇降します。
- (6) **フィーダカバー**  
用紙をセットするときに開きます。

## 背面



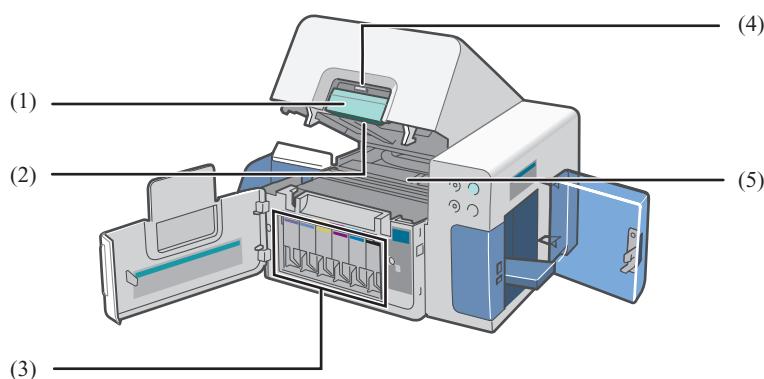
- (1) **メイン電源スイッチ**  
本機の電源をオン / オフするスイッチです。
- (2) **電源コネクタ**  
電源コードを接続します。
- (3) **アース線取り付け用ビス**  
アース線を接続します。
- (4) **USB コネクタ**  
USB ケーブルでパソコンと接続します。
- (5) **スタッカ**  
印刷した用紙が集められます。
- (6) **インク回収タンク**  
プリントヘッドのクリーニングなどを行った際に使用したインクを回収するタンクです。通常は、プリンタ内部にセットした状態で本機を使用します。
- (7) **インク回収タンクカバー**  
インク回収タンクを交換するときに開きます。

## 操作パネル



- (1) **[DATA] ランプ**  
印刷中に点灯します。印刷データの受信中やリセット処理中には点滅します。
- (2) **[ERROR] ランプ**  
エラーが発生したときに点灯します。用紙切れなど、操作の必要なときには点灯します。
- (3) **⏻ [STANDBY] キー / ランプ**  
通常状態（すぐに印刷できる状態）とスリープ状態（節電の状態）を切り替えます。また、このキーは表示ランプも兼ねており、通常状態のときに点灯、スリープ状態のときの消灯、電源のオン / オフ処理の間は点滅します。
- (4) **[RESET] キー**  
プリンタのリセット処理（印刷データのクリア）を行います。印刷中に押すと、印刷を中止して印刷データをクリアします。

## 本体内部



(1) **PHS オープンレバー**

PHS ドアを開けるときに使用します。

(2) **PHS ユニット**

プリントヘッドが収納されています。

(3) **インクカートリッジ**

インクカートリッジをセットします。

・CX 350 の場合：左から順にライトマゼンタ (LM)、ライトシアン (LC)、イエロー (Y)、マゼンタ (M)、シアン (C)、ブラック (Bk) の 6 色です。

・CX 320 の場合：左から順にイエロー (Y)、マゼンタ (M)、シアン (C)、ブラック (Bk) の 4 色です。

(4) **PHS ストッパ**

プリントヘッドを固定するためのロック機構です。本機を移動または輸送するときに使用します。

(5) **搬送部**

用紙を高速で搬送します。紙粉やインクで汚れた場合は清掃してください。





禁 止

- 印刷中にメイン電源スイッチをオフにしないでください。プリントヘッドの保護動作が正常に行われず故障の原因となります。
- 電源を切るときは、操作パネルの ◎ [STANDBY] キーを押すなど、必ずスリープ状態にしてからメイン電源スイッチをオフにしてください。
- 印刷中にフロントドア、PHS ドア、フィーダカバーを開けると、エラーになり印刷が中断されます。また故障の原因になることがあります。
- PHS ドアに無理な力を加えたり強い衝撃を与えないでください。故障の原因になったり印刷品質に悪影響を与えることがあります。また PHS ドアはゆっくりと開閉してください。

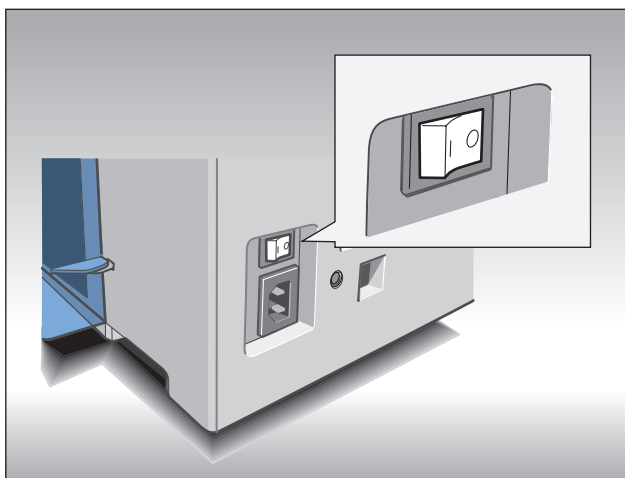
## 1.2 コンピュータと接続する

コンピュータとプリンタを USB ケーブルで接続します。



- プリンタとコンピュータを接続するには、USB ケーブルが必要です。
- 本機は USB 2.0 Full-Speed 対応です。USB 1.1 もお使いいただけます。
- 本製品には USB ケーブルは同梱されていません。お使いのコンピュータのポートなどに合わせて、市販のケーブルをご用意ください。
- Windows Me は、CX 350 のみの対応となりますのでご注意ください。
  - ・ CX 350 の場合：Windows Vista/XP/2000/Me で使用できます。
  - ・ CX 320 の場合：Windows Vista/XP/2000 で使用できます。

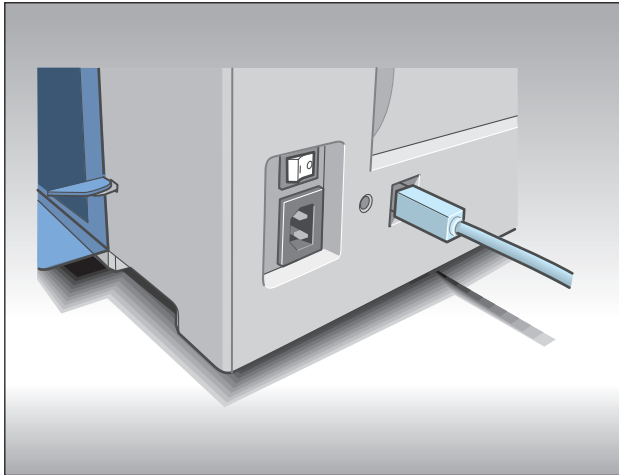
### 1 メイン電源スイッチがオフ（「○」の位置）になっていることを確認します。



## 2

**プリンタとコンピュータを USB ケーブルで接続します。**

プリンタ側のコネクタを最初に接続し、次にコンピュータ側を接続します。



禁 止

- USB ケーブルは、コンピュータやプリンタの電源がオンでも抜き差しすることができますが、次の場合は USB ケーブルを抜き差ししないでください。正しく動作しなくなる場合があります。

- コンピュータの起動中（デスクトップ画面が表示されるまでの間）
- プリンタの印刷中
- プリンタドライバのインストール中

コンピュータやプリンタの電源がオンの時に USB ケーブルを外す場合は、コンピュータ側（USB ハブ側）のコネクタを抜くようにしてください。また、USB ケーブルを差し直す場合は、5 秒以上間隔を空けて差し込んでください。間隔が短いと、正しく動作しない場合があります。

## 1.3 電源を入れる / 切る

本機には、プリンタの電源を完全にオフするメイン電源スイッチと、消費電力を最小限に抑えたスリープ状態に切り替える ④ [STANDBY] キーがあります。

### 電源を入れる

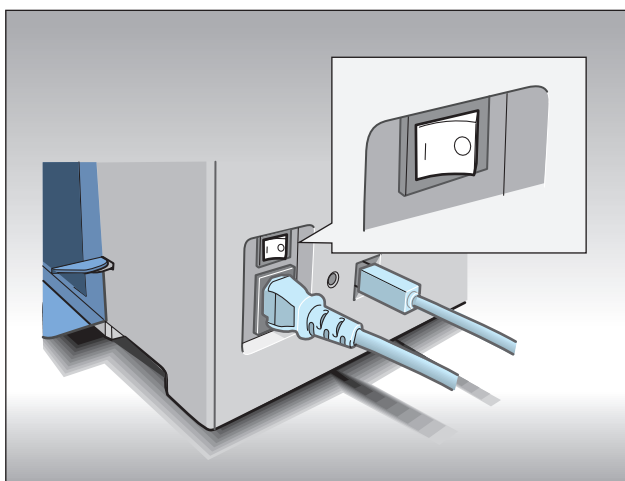
本機の電源を入れます。

1

**メイン電源スイッチをオン（「I」の位置）にします。**

クリーニングが行われ、印刷できる状態（通常状態）になります。

通常状態のときは、④ [STANDBY] ランプが点灯します。



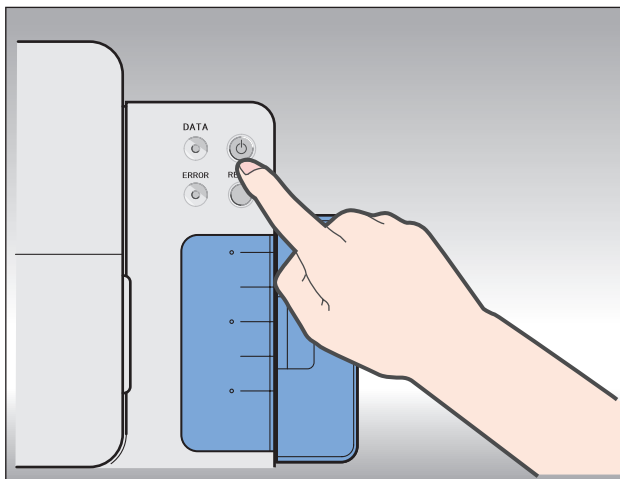
- プリンタがスリープ状態のときは、④ [STANDBY] キーを押すと通常状態になります。なお、印刷を行う場合は、スリープ状態のまま、コンピュータから印刷データを送ると通常状態に切り替わり、印刷が開始されます。

## 電源を切る（日常の終了）

本機の電源を切らずに、スリープ状態に切り替えて終了します。

1

- ① [STANDBY] キーを押します。
- ② [STANDBY] ランプが消え、スリープ状態になります。



- スリープ状態に切り替える操作を行わなくても、印刷を行わずに一定の時間が経過すると、自動的にスリープ状態に切り替わります。切り替え時間は、プリンタドライバのプロパティにある [ユーティリティ] シートの [スリープタイマ設定] で 1 分～ 60 分、または 2 時間に設定できます。[スリープタイマ設定] の初期状態は、4 分に設定されています。

➔ [スリープタイマの設定時間を変更する \(P.69\)](#)

## 電源を完全に切る

本機を長期間使用しない場合や、移動などで電源コードを外す場合は、プリンタの電源を完全にオフします。

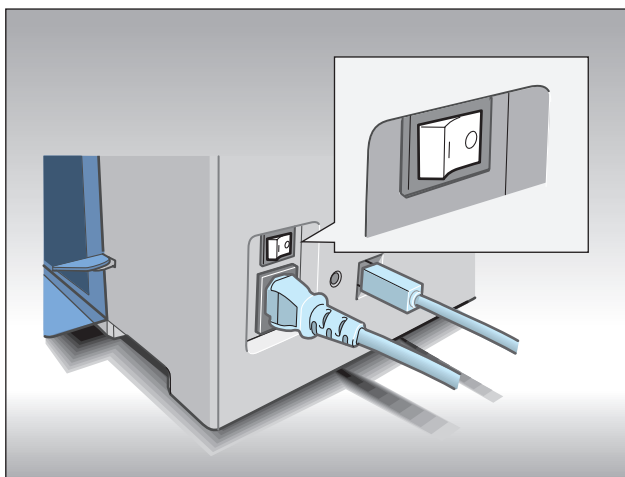
1

Ⓢ [STANDBY] ランプが消えていること（スリープ状態）を確認します。

Ⓢ [STANDBY] ランプが点灯（通常状態）している場合は、Ⓢ [STANDBY] キーを押します。

2

メイン電源スイッチをオフ（「○」の位置）にします。



禁止

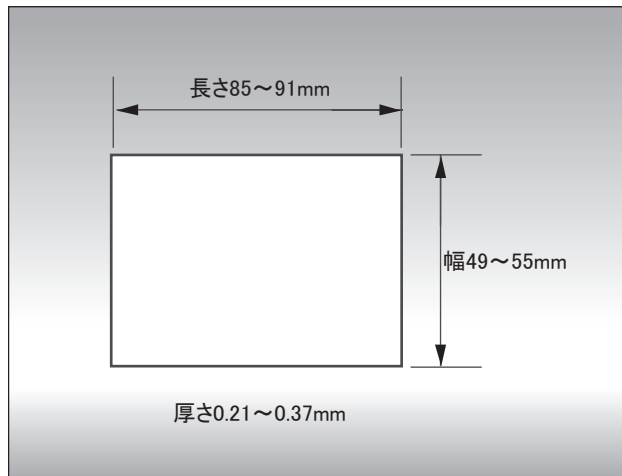
- 印刷中にメイン電源スイッチをオフにしないでください。プリントヘッドの保護動作が正常に行われず故障の原因となります。
- 電源を完全に切る場合は、Ⓢ [STANDBY] キーを押すなど、必ずスリープ状態にしてからメイン電源スイッチをオフにしてください。

## 1.4 用紙をセットする

用紙のセットのしかたを説明します。



- 本機では、次のサイズ of 用紙を使用できます。

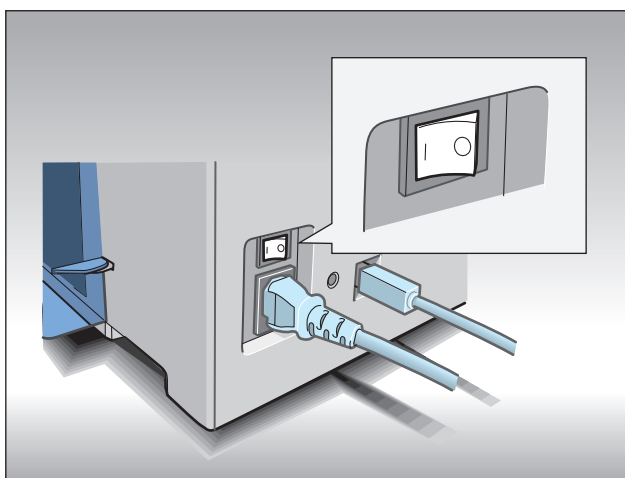


- ご購入の状態では、幅 55mm × 長さ 91mm の名刺サイズ of 用紙に印刷するようにトレイの幅が調整されています。他のサイズ of 用紙を使用する場合は、給紙トレイのガイドを用紙幅に合わせて調整してください。用紙幅が合っていないと、正しく給紙されないことがあります。

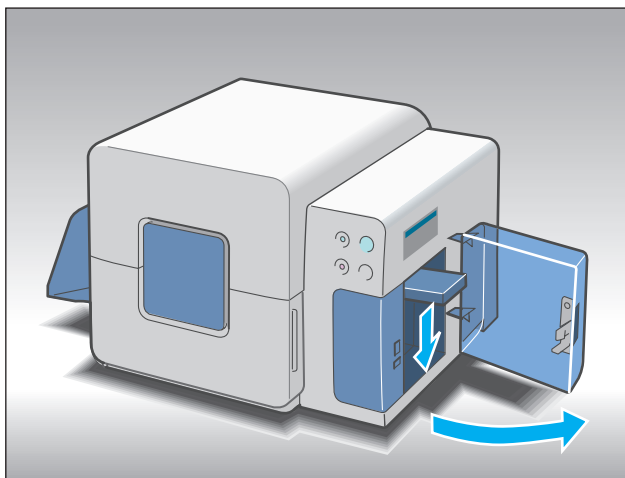
➔ 1.5 用紙幅を調整する (P.29)

- 主な使用できる用紙の種類は次のとおりです。
  - ・ マットコート紙 (カラーカードプリンタ専用用紙)  
一般の上質紙に対応した無光沢 of 用紙です。
  - ・ 光沢紙 (カラーカードプリンタ専用用紙)  
一般 of キャスト紙に対応した光沢度 75% 以上を有する用紙です。その他に再生紙にも対応していますので、用紙についての詳細や用紙 of 入手方法については、ご購入 of 販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。  
また、プリンタ本体への悪影響や印刷品質 of 低下を防ぐため、キヤノン製カラーカードプリンタ専用用紙をご使用されることをおすすめします。

- 1** メイン電源スイッチがオン（「**I**」の位置）になっていることを確認します。  
オフになっているときは、メイン電源スイッチをオンにしてください。



- 2** フィーダカバーを開きます。  
給紙トレイが自動的に下がりますので、停止するまでお待ちください。



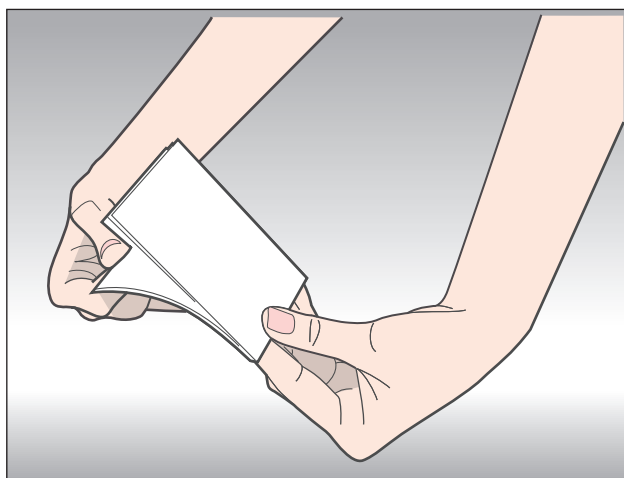
- 給紙トレイの移動中は、トレイに触れたり、下部に手を入れたりしないでください。けがや故障の原因になります。



3

**用紙をよくさばいて揃えます。**

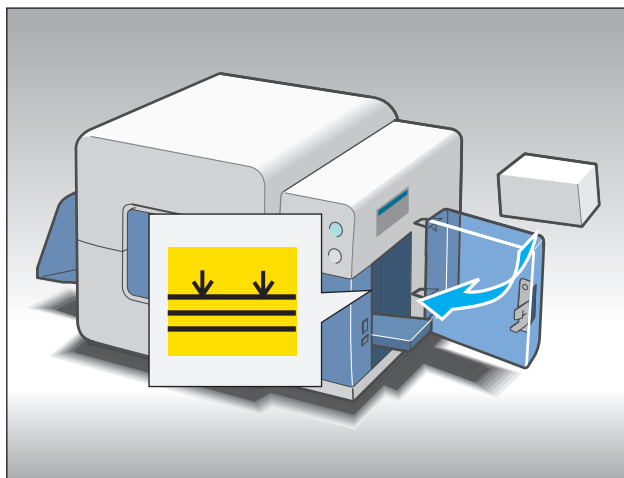
用紙は十分にさばき、反りなどをていねいに直してください。



4

**給紙トレイの奥に突き当たるように用紙をセットします。**

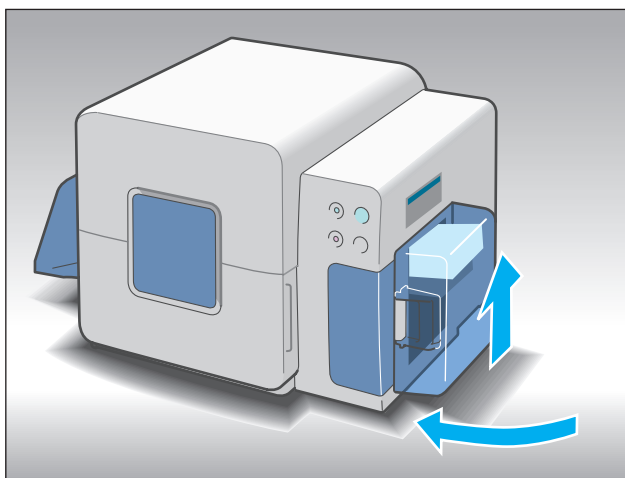
用紙は約 250 枚（用紙の厚さが 0.24mm のとき）までセットできます。



- 用紙は、用紙積載ラベルの矢印が指す線を超えないようにセットします。

## 5

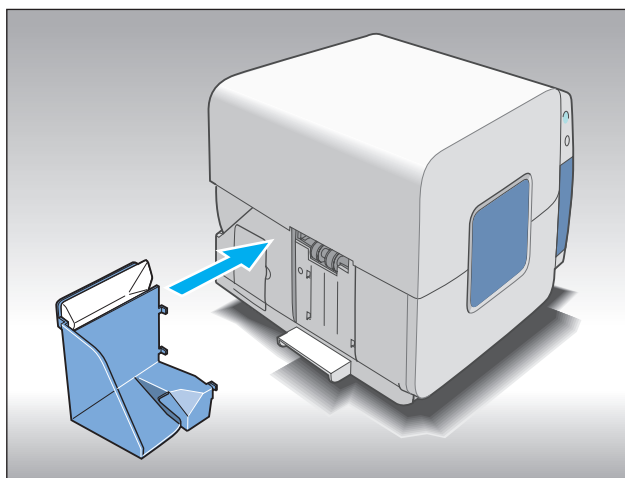
**フィーダカバーを閉じます。**  
給紙トレイが自動的に上がります。



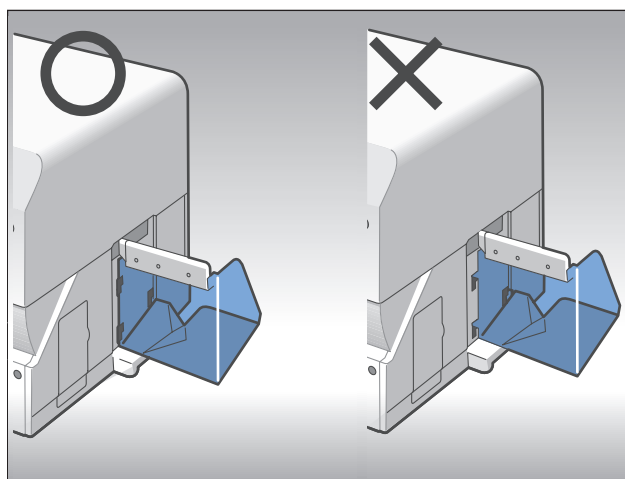
- 250 枚以内であっても、[ERROR] ランプが点灯（用紙積載エラー）している場合は、積載枚数を減らしてお試しください。

# 6

スタックがセットされていない場合は、スタックをセットします。  
図のように 3 つのツメを本体の溝に掛けて固定します。



- スタックをセットするときは、3 つのツメが確実に差し込まれていることを確認してください。正しくセットされていないと、紙詰まりの原因となります。





- 次のような用紙は使用しないでください。状態の悪い用紙を使用すると、紙詰まりや、プリントヘッドのノズル詰まりの原因となることがあります。
  - 反った用紙
  - しわのある用紙
  - 折れている用紙
  - 端のめくれた用紙
  - 湿った用紙
- 用紙をセットする際は、用紙の端を持ち、印刷面に触れないようにしてください。印刷面が汚れていると、印刷の品位が低下することがあります。
- 印刷前の用紙は、直射日光の当たる場所や高温多湿な場所を避け、袋などに入れて保存してください。
- 用紙のセットが正しく行われていない場合は、コンピュータ側のステータスマニタにエラーが表示されます。エラーが表示された場合は、指示に従って用紙を正しくセットし直してください。

## 1.5 用紙幅を調整する

使用する用紙の幅に合わせて、給紙トレイのガイドを調整します。



- ご購入の状態では、幅 55mm × 長さ 91mm の名刺サイズ用の紙に印刷するようにトレイの幅が調整されています。他のサイズの用紙を使用する場合は、給紙トレイのガイドを用紙幅に合わせて調整してください。用紙幅が合っていないと正しく給紙されないことがあります。

1

**メイン電源スイッチがオン（「I」の位置）になっていることを確認します。**

オフになっているときは、メイン電源スイッチをオンにしてください。

2

**フィーダカバーを開きます。**

給紙トレイが自動的に下がりますので、停止するまでお待ちください。



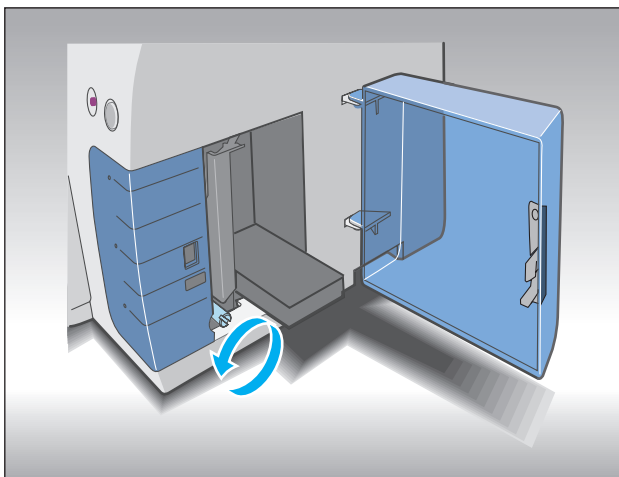
注 意

- 給紙トレイの移動中は、トレイに触れたり、下部に手を入れたりしないでください。けがや故障の原因になります。

3

**ガイドのネジをゆるめます。**

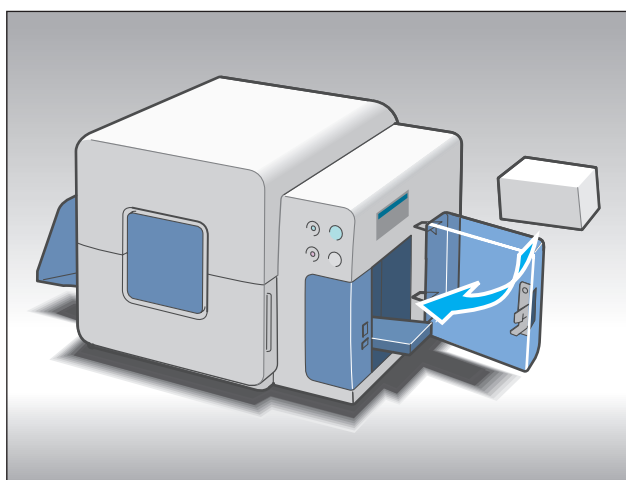
ネジが固い場合は、コインなどを使ってゆるめることができます。



## 4

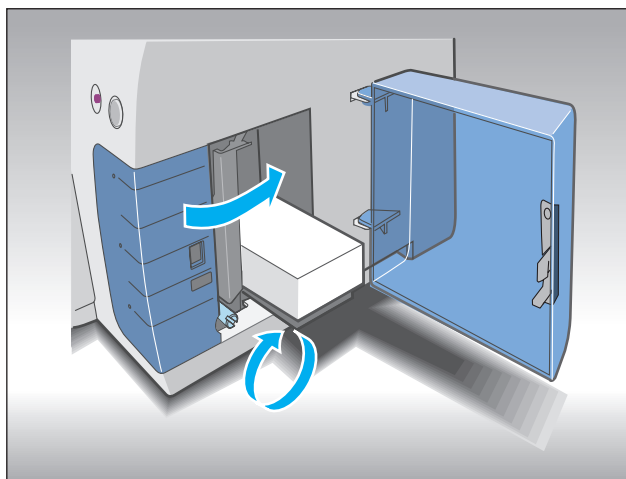
使用する用紙を数枚揃えて給紙トレイにセットします。

ガイドがせまい場合は、ガイドを外側に開いてからセットしてください。



## 5

ガイドを用紙の端に合わせ、ネジをしめて固定します。



注 意

- ガイドは、用紙の端に軽く当たるように固定してください。ガイドがきついと、正しく給紙できないことがあります。

## 6

用紙をセットし、フィーダカバーを閉じます。

給紙トレイが自動的に上がります。

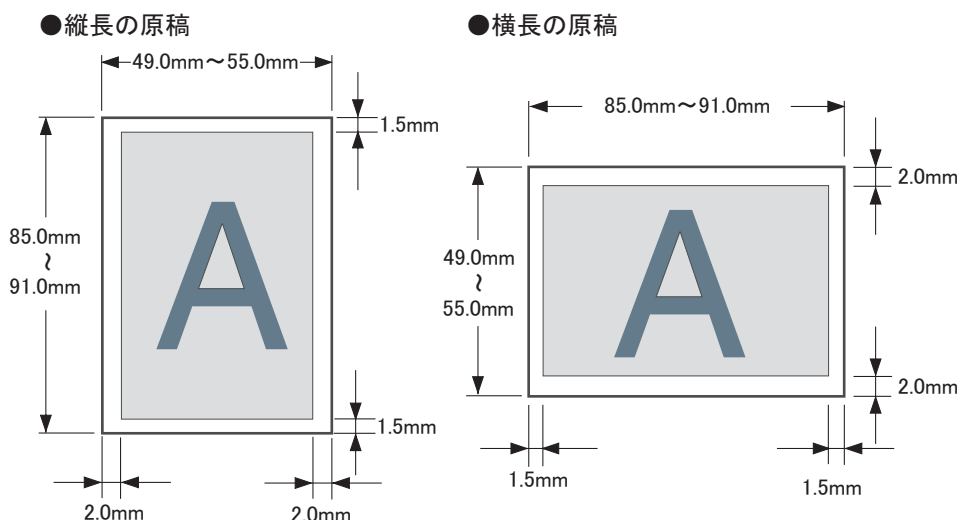
# 印刷のしかた

印刷の準備ができれば、各種のアプリケーションソフトなどで原稿を作成し、印刷を行います。

ここでは Windows 2000 で「Canon ImageCreate II」を使用した印刷方法を例に説明しています。

## 2.1 印刷データの作りかた

本機で印刷する原稿は、次のサイズで作成します。



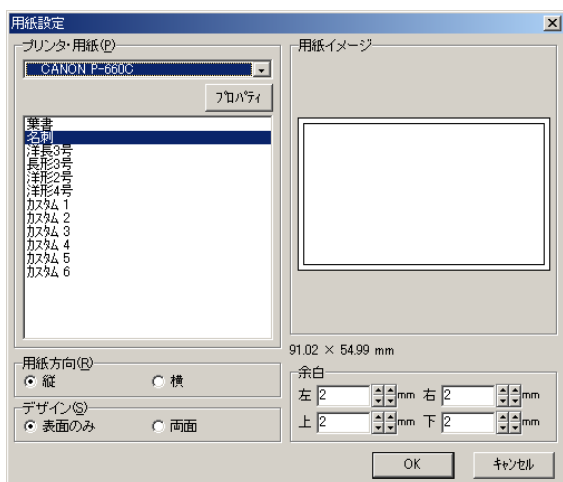
- 用紙のサイズに関係なく、余白（印刷されない部分）量が上の図のように決められています。この部分にかかった文字や画像は印刷されません。

お使いのアプリケーションソフトによって、原稿のサイズや向き、余白などを設定する手順は異なります。詳しくは、それぞれのアプリケーションソフトの説明書をご覧ください。

## 1

【ファイル】メニューを開き、【用紙設定】を選びます。

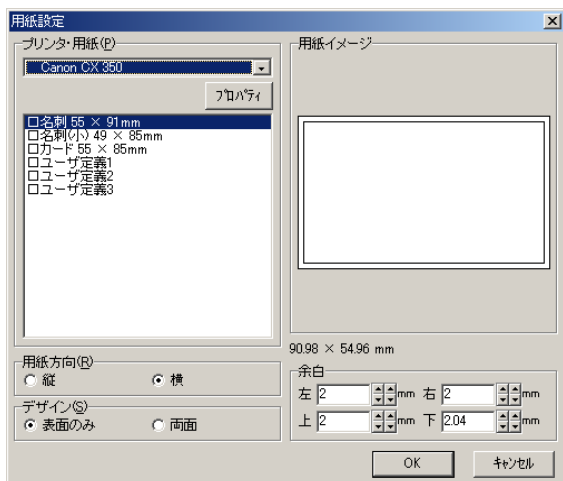
【用紙設定】ダイアログボックスが表示されます。



## 2

プリンタを選びます。

ドロップダウンリストボックスから [Canon CX 350] または [Canon CX 320] を選びます。  
本機用の用紙サイズがリスト表示されます。





## 3

目的の用紙サイズと用紙方向を選びます。



- 縦長の原稿の場合は〔用紙方向〕を〔縦〕、横長の原稿の場合は〔横〕を選びます。
- 印刷用紙余白は、〔用紙方向〕が〔縦〕の場合は、〔上〕〔下〕を〔1.5〕以上、〔左〕〔右〕を〔2.0〕以上に設定します。  
〔用紙方向〕が〔横〕の場合は、〔上〕〔下〕を〔2.0〕以上、〔左〕〔右〕を〔1.5〕以上に設定します。
- 〔プロパティ〕をクリックすると、用紙の種類や色設定などの印刷設定を設定できます。詳しくは、「3 プリンタドライバの使いかた」をご覧ください。

➔ 3 プリンタドライバの使いかた (P.38)

## 4

〔OK〕をクリックします。

印刷設定ダイアログボックスが閉じます。

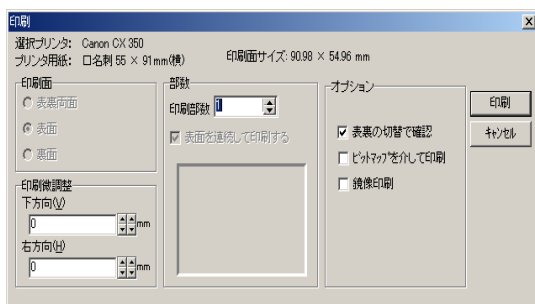
## 2.2 印刷を行う

原稿が作成できたら、アプリケーションソフトから印刷を開始します。



- お使いのアプリケーションソフトによって、印刷の手順や画面のボタン名などが異なります。お使いのアプリケーションソフトの説明書を併せてご覧ください。

- 1 アプリケーションソフトの【ファイル】メニューを開き、【印刷】を選びます。  
印刷のダイアログボックスが表示されます。



- 2 【プリンタ】が【Canon CX 350】または【Canon CX 320】になっていることを確認します。



- お使いのアプリケーションソフトによってプリンタの設定を行うボタン（[詳細設定]、[プロパティ] など）がある場合は、ここで用紙の種類や色設定などの印刷設定を行います。

- 3 印刷部数を指定します。  
ここで指定した印刷部数は、印刷設定ダイアログボックスの設定よりも優先されます。

## 4

用紙の準備ができていることを確認し、[印刷] をクリックします。

印刷が開始されます。



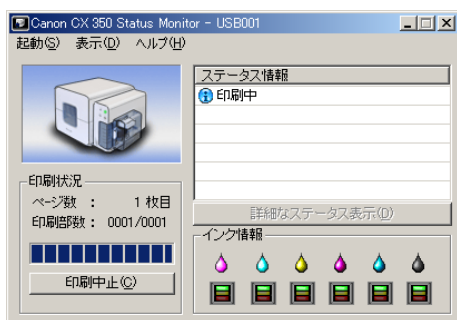
- 目的に合わせて印刷の設定を変えたい場合は、「3 プリンタドライバの使いかた」をご覧ください。  
➔ 3 プリンタドライバの使いかた (P.38)
- 用紙サイズ、印刷の向き、印刷部数など、アプリケーションソフトとプリンタドライバで同じ設定項目がある場合、アプリケーションソフトの設定の方が優先されることがあります。
- アプリケーションソフトの中で設定した印刷設定は、そのアプリケーションソフトだけで使用されます。いろいろなアプリケーションソフトで共通して使用する印刷設定は、Windows のコントロールパネルから設定してください。  
➔ [スタート] メニューから表示する (P.41)

## 2.3 印刷を中止する

パソコンから印刷しているときに印刷を中止します。

1

Canon CX 350 または Canon CX 320 Status Monitor ウィンドウ(ステータスマニタ) の [印刷中止] をクリックします。



- ステータスマニタが表示されていない場合は、タスクバーに最小化されているか、またはタスクトレイに入っています。それぞれクリックすると、ステータスマニタが表示されます。

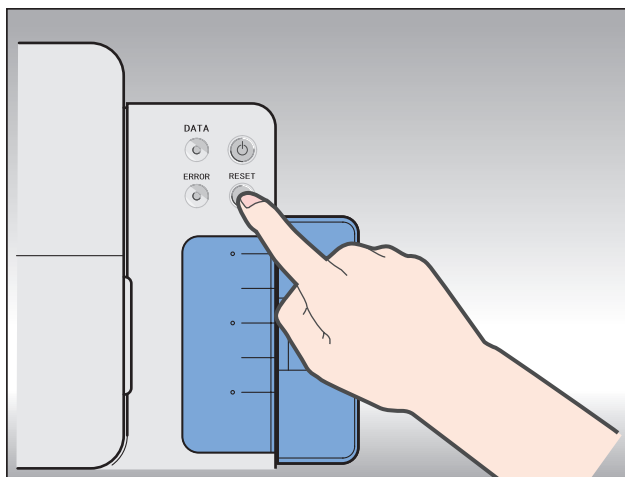
➔ 4.1 ステータスマニタを表示する (P.72)

## 2

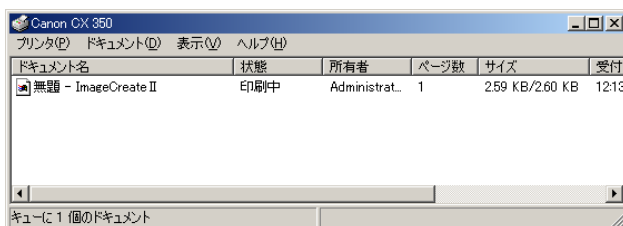
## 【RESET】キーを押します。

印刷が中止され、印刷データがクリアされます。

なお、給紙されている用紙がある場合、その用紙の印刷は行われます。



- ステータスモニタ以外にも印刷キューウィンドウ（印刷データの順番が登録されるウィンドウ）で印刷を中止できます。  
詳しくは、Windows の説明書をご覧ください。



禁止

- 印刷中にメイン電源スイッチをオフにしないでください。プリントヘッドの保護動作が正常に行われず故障の原因となります。

# プリンタドライバの使いかた

プリンタドライバのダイアログボックスにある各項目の機能を説明します。

ここでは、Windows 2000 で「Canon Image Create II」を使用した場合を例に説明しています。

## 3.1 プリンタドライバのダイアログボックスを表示する

いろいろな印刷機能の設定を行う場合は、プリンタドライバの [印刷設定] ダイアログボックスを表示します。この [印刷設定] ダイアログボックスは、アプリケーションソフトから表示する方法と、Windows の [スタート] メニューから表示する方法があります。



- アプリケーションソフトの中で設定した印刷設定は、そのアプリケーションソフトだけで使用されます。いろいろなアプリケーションソフトで共通して使用する印刷設定は、Windows のコントロールパネルから設定してください。

➔ [スタート] メニューから表示する (P.41)

### アプリケーションソフトから表示する

使用しているアプリケーションソフトの中から [印刷設定] ダイアログボックスを表示して設定を行います。

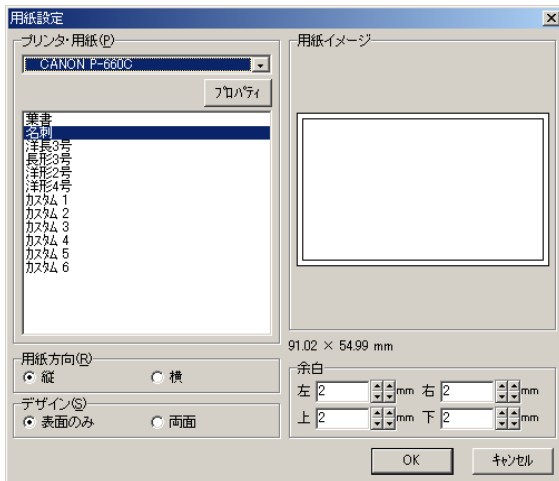


- お使いのアプリケーションソフトによって、[印刷設定] ダイアログボックスの表示手順が異なります。お使いのアプリケーションソフトの説明書を併せてご覧ください。

## 1

アプリケーションソフトの【ファイル】メニューを開き、印刷やレイアウトを設定する項目を選びます。

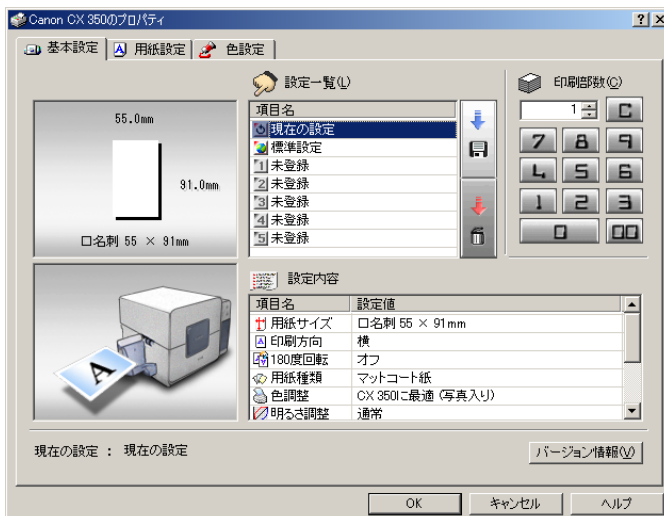
一般的には、【ファイル】メニューから「用紙設定」、「ページ設定」、「プリンタの設定」、「印刷」などを選択します。



## 2

使用するプリンタに「Canon CX 350」または「Canon CX 320」を選び、印刷設定のダイアログボックスを表示します。

一般的には、【プリンタ名】、【プリンタの選択】で「Canon CX 350」または「Canon CX 320」を選び、【プロパティ】、【詳細設定】などのボタンをクリックします。





- 印刷設定のダイアログボックスの表示のしかたは、アプリケーションソフトによって異なります。詳しくは、アプリケーションソフトの説明書をご覧ください。



- プリントヘッドのクリーニングやプリンタのメンテナンスを行う場合は、Windows の [スタート] メニューからプリンタの [プロパティ] ダイアログボックスを表示します。アプリケーションソフトからは、メンテナンスを行う [ユーティリティ] シートが表示されません。

➔ [スタート] メニューから表示する (P.41)



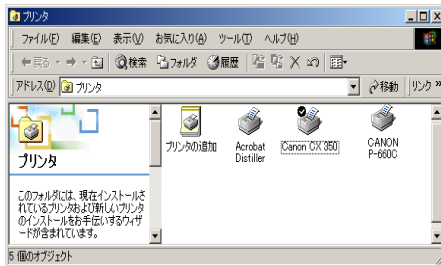
## 【スタート】メニューから表示する

Windows の【スタート】メニューから【印刷設定】ダイアログボックスを表示して、設定を行います。

アプリケーションソフトによらず共通の印刷設定を使用するために設定内容を登録する場合や、プリントヘッドのクリーニング、プリンタのメンテナンスを行う場合は、この方法で表示します。

### 1

Windows 2000 の場合は、【スタート】をクリックし、【設定】から【プリンタ】を選び、【プリンタ】フォルダを表示します。



### Windows Vista の場合

【スタート】をクリックし、【コントロールパネル】をクリックしてコントロールパネルホームを表示した後、「ハードウェアとサウンド」の【プリンタ】を選びます。

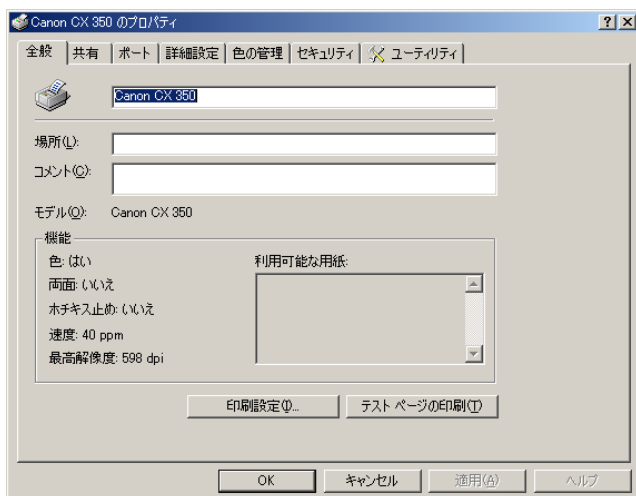
### Windows XP の場合

【スタート】をクリックし、【コントロールパネル】から【プリンタとFAX】を選びます。

### Windows Me の場合 (CX 350 のみ)

【スタート】をクリックし、【設定】から【プリンタ】を選びます。

## 2 Canon CX 350 または Canon CX 320 プリンタのアイコンをクリックし、[ファイル] メニューから [プロパティ] を選びます。



### Windows Vista の場合

Canon CX 350 または Canon CX 320 プリンタのアイコンをクリックし、[整理] メニューの [プロパティ] を選びます。

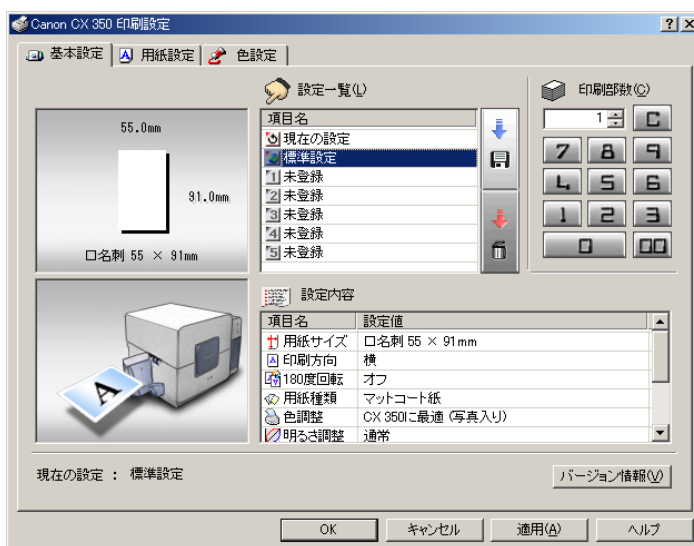


- ここで [ユーティリティ] タブをクリックして [ユーティリティ] シートを表示すると、プリントヘッドのクリーニングなどを行うことができます。

# 3

【印刷設定】をクリックします。

【印刷設定】ダイアログボックスが表示されます。



## Windows Me の場合 (CX 350 のみ)

【基本設定】タブ、【用紙設定】タブ、【ユーティリティ】タブをクリックします。

それぞれのシートが表示され、設定を行えます。



- Windows XP/Windows 2000 の場合、印刷設定のみを行うときは、手順 1 で【ファイル】メニューの【印刷設定】を選ぶと【印刷設定】ダイアログボックスを直接表示できます。

## 3.2 「基本設定」シートを利用する

「基本設定」シートでは、現在の設定内容をリストで確認できるほか、よく使用する印刷設定を登録して利用することができます。

また、印刷部数の設定ができます。



- (1) **設定一覧**  
登録されている設定がリスト表示されます。
- (2) **用紙サイズのプレビュー**  
現在設定されている用紙サイズがプレビュー表示されます。
- (3) **印刷の向きのプレビュー**  
現在設定されている印刷の向きがプレビュー表示されます。
- (4) **登録 / 削除**  
印刷設定の登録または削除を行います。
- (5) **印刷部数**  
印刷部数を設定します。
- (6) **設定内容**  
現在の印刷設定の内容が表示されます。



- アプリケーションソフトの中からプリンタのプロパティを表示した場合は、設定の登録や削除ができません。設定の登録や削除を行う場合は、Windows の [スタート] メニューから [印刷設定] ダイアログボックスを開いてください。

➔ [スタート] メニューから表示する (P.41)

## 印刷部数を決める

[印刷部数] では、原稿を印刷する部数を設定します。  
部数は、1 ～ 9999 部の範囲で設定できます。

部数は次の 2 つの方法で設定できます。

### ■ 表示ボタンで入力する

ダイアログボックスの [1] ～ [9] および [0]、[00] をクリックします。



入力を間違えた場合は、[C] をクリックします。部数が「1」に戻り、再入力できます。  
また、入力ボックスの右にある 、 ボタンをクリックすると、現在の部数から 1 部ずつ増減できます。

### ■ キーボードから入力する

部数をキーボードから入力します。

キーボードの [1] ～ [9]、[0] キーを使用し、半角入力で部数を設定します。

なお、キーボードでは、数字キーのほかに [Delete] (全桁をクリア)、[BackSpace] (1 桁ずつクリア) などのキーが使用できます。



- キーボードから部数を入力するときは、[印刷部数] の入力ボックスをクリックする必要はありません。[基本設定] シートが表示されているときはいつでも数字キーなどを押すだけで印刷部数を入力できます。

## 印刷設定を登録する

よく使う印刷設定は、最大 5 つまで登録しておくことができます。登録した印刷設定は、リストから選ぶだけで読み込まれ、いつでも同じ設定で印刷することが可能です。



- 登録できる項目は、[用紙設定] シートおよび [色設定] シートの項目です。ただし、用紙サイズで [ユーザ定義] を選んだ場合、用紙の幅と長さの数値は登録されません。このため、ユーザ定義サイズを登録時と異なる数値に変更している場合は、印刷結果が異なりますので注意してください。
- アプリケーションソフトの中からプリンタのプロパティを表示した場合は、設定の登録や削除ができません。設定の登録や削除を行う場合は、Windows の [スタート] メニューから [印刷設定] ダイアログボックスを開いてください。

➔ [スタート] メニューから表示する (P.41)

1

**[用紙設定] シートおよび [色設定] シートで登録する内容を設定します。**

[用紙設定] タブ、[色設定] タブをクリックし、それぞれのシートを表示して設定を行ってください。

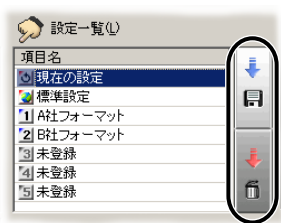
2

**[基本設定] シートに戻ります。**

[設定一覧] で [現在の設定] (標準の状態のまま登録する場合は [標準設定]) が選ばれていることを確認してください。

3

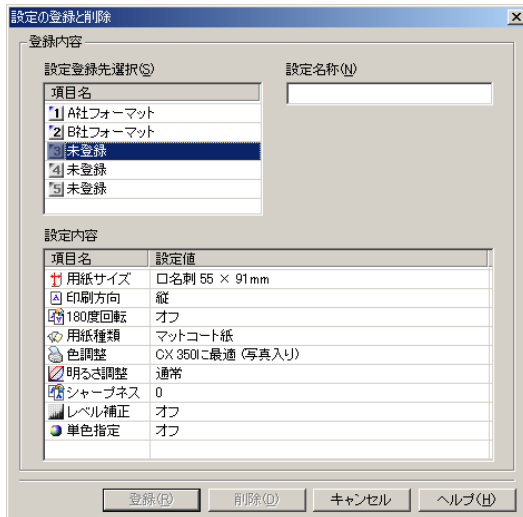
**[登録 / 削除] をクリックします。**



[設定の登録と削除] ダイアログボックスが表示されます。

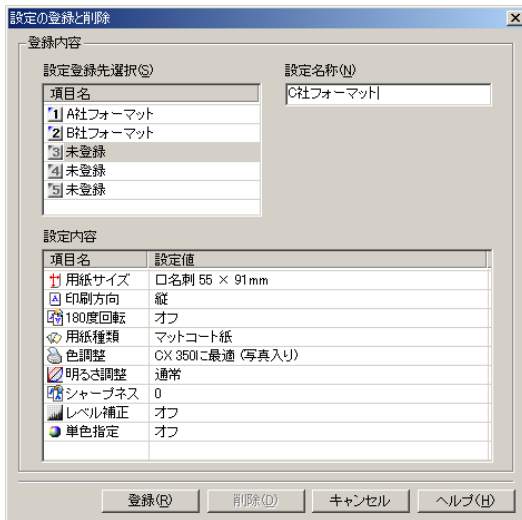
## 4

【設定登録先選択】のリストから登録先を選び、クリックします。



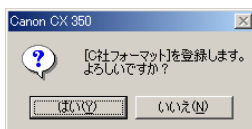
- 既に登録されている場所を登録先を選んだ場合、以前の設定に上書きされます。また、【現在の設定】、【標準の設定】の位置には登録できません。

- 5** **【設定名称】のボックスに設定の名前を入力します。**  
 名前は、Windows Vista / Windows XP / Windows 2000 の場合は、半角および全角 16 文字まで入力できます。  
 Windows Me の場合は半角では 16 文字、全角では 8 文字まで入力できます。



- 名前の入力省略できません。また、名前にはスペースやタブは使用できません。

- 6** **【設定内容】の内容を確認し、【登録】をクリックします。**  
 登録確認のメッセージダイアログボックスが表示されます。





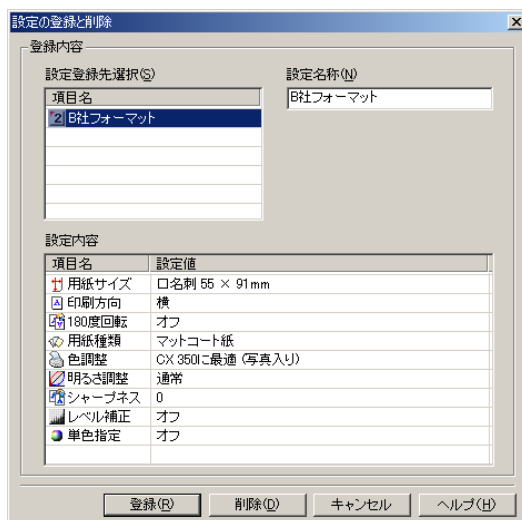
# 7

【はい】 をクリックします。

【設定一覧】 に印刷設定が登録されます。



- 登録されている印刷設定の名前を変更する場合は、【設定一覧】 で設定を選び、【登録 / 削除】 をクリックします。【設定の登録と削除】 ダイアログボックスで名前を変更し、【登録】 をクリックしてください。
- 登録されている印刷設定を削除する場合は、【設定一覧】 で設定を選び、【登録 / 削除】 をクリックします。【設定の登録と削除】 ダイアログボックスの【設定登録先選択】 に削除する設定が表示されるので、確認して【削除】 をクリックしてください。【設定一覧】 の項目名が「未登録」に戻ります。



## 登録されている印刷設定を使う

登録されている印刷設定を使って印刷することができます。

登録されている印刷設定は、リストから選ぶだけで読み込まれるので、いつでも目的に合った印刷設定で印刷を行えます。



- 用紙サイズで「ユーザ定義」が設定されている印刷設定を選んだ場合、用紙の幅と長さの数値を確認してください。ユーザ定義サイズが登録時と異なる数値に変更している場合は、印刷結果が異なりますので注意してください。

### 1

【設定一覧】から使用する印刷設定を選び、クリックします。

印刷設定が読み込まれます。



- 「未登録」の項目を選んだ場合、設定は変化しません。
- 「標準設定」を選ぶと、プリンタドライバをインストールしたときの状態（なにも設定を変更していない状態）に戻ります。  
標準設定では、次のような設定状態になります。

シート名	項目	標準の設定
基本設定	印刷部数	1
	設定一覧	標準の設定
用紙設定	用紙サイズ	□名刺 55 × 91mm
	用紙の種類	マットコート紙
	印刷の向き	横、180 度回転なし
色設定	色調整	CX 350 に最適 (写真入り) または CX 320 に最適 (写真入り)
	明るさ調整	通常
	シャープネス	0
	レベル補正	オフ
	単色指定	オフ (オンにしたときは [ゼブラ] が選ばれます。)
	カラーバランス *	シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック がすべて 0
	濃度 *	0

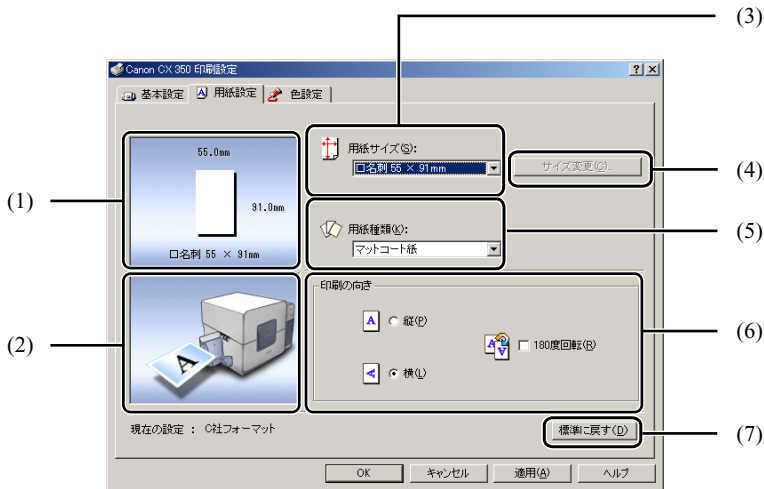
\*: [詳細設定] ダイアログボックスの項目です。

## バージョン情報を確認する

プリンタドライバのバージョンや著作権などの情報を確認できます。  
[バージョン情報] をクリックすると、[バージョン情報] ダイアログボックスが表示されます。

### 3.3 「用紙設定」 シートを利用する

「用紙設定」シートでは、用紙のサイズや向きなど、用紙に関する設定を行えます。



- (1) **用紙サイズのプレビュー**  
現在設定されている用紙サイズがプレビュー表示されます。
- (2) **印刷の向きのプレビュー**  
現在設定されている印刷の向きがプレビュー表示されます。
- (3) **用紙サイズ**  
用紙サイズを設定します。
- (4) **サイズ変更ボタン**  
用紙サイズを自由に設定できます。
- (5) **用紙種類**  
用紙の種類を設定します。
- (6) **印刷の向き**  
用紙に対する印刷の向きを設定します。
- (7) **標準に戻すボタン**  
用紙設定を標準の設定に戻します。



- アプリケーションソフトの中からプリンタのプロパティを表示した場合は、ユーザ定義サイズの設定ができません。ユーザ設定サイズを設定する場合は、Windows の [スタート] メニューから [印刷設定] ダイアログボックスを開いてください。

➔ [スタート] メニューから表示する (P.41)

- [サイズ変更] ボタンは [用紙サイズ] で [ユーザ定義] を選択すると、クリックできるようになります。

## 用紙サイズを選ぶ

[用紙サイズ] では、印刷する用紙のサイズを選びます。  
標準的な 3 種類の用紙サイズから選べるほか、独自の用紙サイズを 3 種類まで登録して利用できます。

[用紙サイズ] は、次の中から選べます。



### ☐ 名刺 55 × 91mm

55 × 91mm のサイズの用紙を使用します。

### ☐ 名刺 (小) 49 × 85mm

49 × 85mm のサイズの用紙を使用します。

### ☐ カード 55 × 85mm

55 × 85mm のサイズの用紙を使用します。

### ☐ ユーザ定義 1] ~ [☐ ユーザ定義 3]

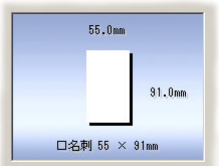
登録されている用紙サイズ ([ユーザ定義] のサイズ) を使用します。

[ユーザ定義] の用紙サイズを使用するには、[ユーザ定義サイズ] ダイアログボックスを開いて用紙サイズを登録しておく必要があります。

➔ 用紙サイズを自由に設定する (P.54)



- 現在の用紙サイズは、プレビュー表示で確認できます。



## 用紙サイズを自由に設定する

印刷する用紙のサイズが「用紙サイズ」にない場合は、幅や長さを自由に設定した用紙サイズを登録しておきます。用紙サイズの登録は「ユーザ定義」に3種類まで登録できます。



- ユーザ定義サイズで設定した数値（幅や長さ）は、印刷設定に登録されません。登録した印刷設定を共用するとき、ユーザ定義サイズが設定されている場合は、用紙の幅と長さが正しいか確認することをお奨めします。

## 1

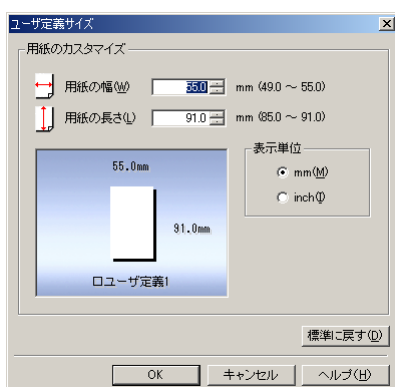
「用紙サイズ」の「☐ユーザ定義 1」～「☐ユーザ定義 3」の中から、用紙サイズを登録する設定値を選びます。



2

**「サイズ変更」をクリックします。**

「ユーザ定義サイズ」ダイアログボックスが表示されます。



3

**「用紙の幅」に用紙の幅を入力します。**

幅は 49.0 ～ 55.0mm (1.93 ～ 2.17inch) の範囲で入力します。

4

**「用紙の長さ」に用紙の長さを入力します。**

長さは 85.0 ～ 91.0mm (3.35 ～ 3.58inch) の範囲で入力します。

5

**「OK」をクリックします。**

ユーザ定義サイズが登録されます。

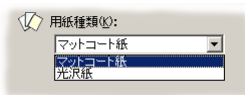


- 用紙の幅と長さを標準サイズ（名刺 55 × 91mm）に戻す場合は、[標準に戻す] をクリックします。なお、[用紙設定] シートの [標準に戻す] をクリックしても用紙定義サイズは標準サイズに戻りません。
- 用紙サイズの表示単位を変える場合は、[表示単位] の [mm] または [inch] をクリックします。

## 用紙の種類を選ぶ

〔用紙種類〕では、印刷する用紙の種類を選びます。

〔用紙種類〕は、次の中から選べます。



### 〔マットコート紙〕

マットコート紙を使用します。

### 〔光沢紙〕

光沢紙を使用します。

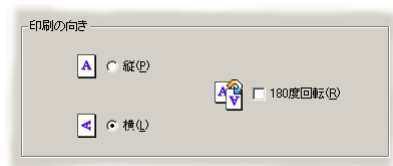


- 〔用紙種類〕で、本機にセットされた用紙と異なる種類を選んだ場合、正しい印刷結果が得られない場合がありますので注意してください。



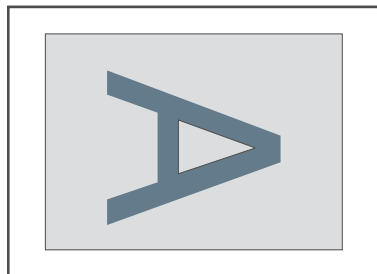
## 印刷の向きを選ぶ

〔印刷の向き〕では、原稿の印刷する向きを選びます。  
〔印刷の向き〕は、次の組み合わせで選べます。



### 〔縦〕

用紙を縦長に使用して印刷する場合に選びます。



← 用紙の送り方向

### 〔横〕

用紙を横長に使用して印刷する場合に選びます。

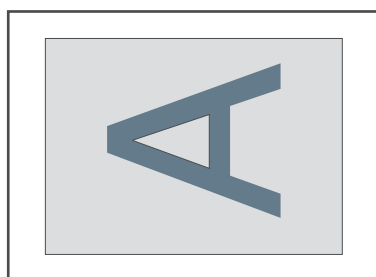


← 用紙の送り方向

## [180 度回転]

[縦] または [横] で設定した原稿を 180 度回転して印刷する場合にチェックをつけます。

[縦]を180度回転した場合



← 用紙の送り方向

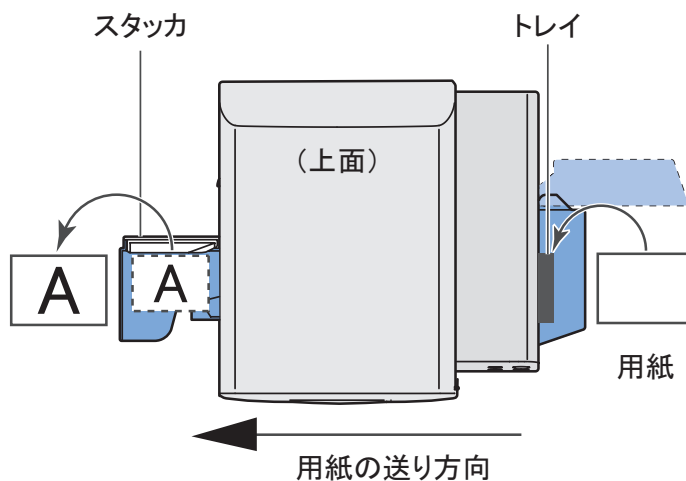
[横]を180度回転した場合



← 用紙の送り方向



- 用紙の送り方向は、プリンタに対して次のようになります。



- 現在の印刷の向きは、プレビュー表示で確認できます。



## 3.4 [色設定] シートを利用する

[色設定] シートでは、印刷するときの画質や色に関する設定を行えます。



- (1) **標準設定での出力イメージ**  
標準の色設定で印刷したイメージがプレビュー表示されます。
- (2) **設定変更後の出力イメージ**  
現在の色設定で印刷したイメージがプレビュー表示されます。
- (3) **色調整**  
原稿に応じた色合いの調整を行います。
- (4) **明るさ調整**  
原稿の明るさを調整します。
- (5) **シャープネス**  
原稿をくっきり見せる処理を設定します。
- (6) **レベル補正**  
原稿のコントラストの調整を行います。
- (7) **単色指定**  
原稿を単色で印刷する設定を行います。
- (8) **標準に戻すボタン**  
色設定を標準の設定に戻します。
- (9) **詳細設定ボタン**  
原稿のカラーバランスや濃度の調整を行います。

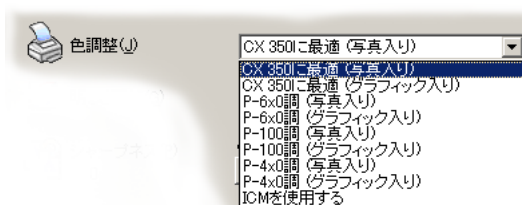
## 原稿に合った色調整を選ぶ

〔色調整〕では、原稿の内容に合った色合いの調整を行います。

風景写真や人物画を印刷するときは〔色調整〕の「写真入り」を選びます。文字やイラスト、コンピュータグラフィックスなどを印刷するときは「グラフィック入り」を選びます。

また、Canon P-600 シリーズプリンタ、Canon P-100M プリンタ、Canon P-400 シリーズプリンタで印刷したときの色合いに近づけることもできます。

〔色調整〕は、次の 9 項目から選べます。



### 〔CX 350 に最適 (写真入り)〕 または 〔CX 320 に最適 (写真入り)〕

本機に最適な色調整を行います。

写真画像入りの印刷をする場合に選びます。

### 〔CX 350 に最適 (グラフィック入り)〕 または 〔CX 320 に最適 (グラフィック入り)〕

本機に最適な色調整を行います。

グラフィック画像の印刷をする場合に選びます。

### 〔P-6x0 調 (写真入り)〕

Canon P-600 シリーズプリンタに合わせた色調整を行います。

写真画像入りの印刷をする場合に選びます。

### 〔P-6x0 調 (グラフィック入り)〕

Canon P-600 シリーズプリンタに合わせた色調整を行います。

グラフィック画像の印刷をする場合に選びます。

### 〔P-100 調 (写真入り)〕

Canon P-100M プリンタに合わせた色調整を行います。

写真画像入りの印刷をする場合に選びます。

### 〔P-100 調 (グラフィック入り)〕

Canon P-100M プリンタに合わせた色調整を行います。

グラフィック画像の印刷をする場合に選びます。

**[P-400 調 (写真入り)]**

Canon P-400 シリーズプリンタに合わせた色調整を行います。  
写真画像入りの印刷をする場合に選びます。

**[P-400 調 (グラフィック入り)]**

Canon P-400 シリーズプリンタに合わせた色調整を行います。  
グラフィック画像の印刷をする場合に選びます。

**[ICM を使用する]**

Windows の色補正機能である ICM (Image Color Management) を使用して色の補正を行います。



- Canon P-600 シリーズプリンタには、Canon P-640C/660C/660C II があります。  
Canon P400 シリーズプリンタには、Canon P-400C/400C II /450D があります。
- 印刷内容に写真とグラフィックの両方が含まれている場合は、[写真] を選んでください。また、印刷内容が文字だけの場合は、[グラフィック] を選んでください。
- [色調整] で [ICM を使用する] を選んだ場合、[明るさ調整] はグレー表示になり、設定は無効になります。
- [ICM を使用する] は、Windows Vista / Windows XP / Windows 2000 のみ対応です。

## 明るさを調整する

【明るさ調整】では、印刷した結果を見て、全体的に暗すぎたり、明るすぎたりする場合は、明るさを調整します。

この調整では、もっとも暗い部分と明るい部分の濃淡は変えずに、中間色の明るさを調整できます。

【明るさ調整】は、次の3つから選べます。



### 【明るく】

印刷内容を明るく印刷します。

印刷結果が暗く感じた場合に選びます。

### 【通常】

通常の明るさで印刷します。

最初はこの設定で印刷し、印刷結果を見て必要に応じて【明るく】または【暗く】を選んでください。

### 【暗く】

印刷内容を暗く印刷します。

印刷結果が明るすぎると感じた場合に選びます。



- 【色調整】で【ICMを使用する】を選んだ場合、【明るさ調整】はグレー表示になり、設定できません。

## シャープネスをかける

[シャープネス] では、印刷した結果を見て、全体的にぼやけていると感じた場合に、シャープネス処理を行ってくっきり見せることができます。

シャープネスは、スライダをドラッグし、0（左端）～3（右端）の4段階から選べます。



### [0]

シャープネスを使用しません。

### [1 ～ 3]

シャープネスの処理を行います。

数字が大きくなるほど、効果が大きく現れます。

## レベル補正を行う

[レベル補正] は、印刷した結果を見て、コントラストが弱い（明暗にメリハリがない）と感じた場合に、コントラストを強くなるように補正をかけます。

レベル補正を行うと、原稿の明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗く印刷されます。

レベル補正を行う場合は、[レベル補正] チェックボックスをクリックし、チェックをつけます。

レベル補正が必要ない場合は、チェックを外します。



## 単色で印刷する

〔単色指定〕では、カラーの原稿を単色にして印刷できます。

単色で印刷する場合は、〔単色指定〕チェックボックスをクリックし、使用する色を選んでチェックをつけます。

単色の指定を解除する場合は、〔単色指定〕のチェックを外します。



### 〔ゼブラ〕

印刷内容を黒白で印刷します。

ブラックインクだけを使って印刷します。

### 〔アッシュ〕

印刷内容をグレー系の単色で印刷します。

〔ゼブラ〕と違い、6 色 (CX 350) または 4 色 (CX 320) すべてのインクを使って印刷します。

### 〔ローズ〕

印刷内容を赤色系の単色で印刷します。

〔ゼブラ〕と違い、6 色 (CX 350) または 4 色 (CX 320) すべてのインクを使って印刷します。

### 〔サンセット〕

印刷内容を紫色系の単色で印刷します。

〔ゼブラ〕と違い、6 色 (CX 350) または 4 色 (CX 320) すべてのインクを使って印刷します。

### 〔オーシャン〕

印刷内容を青色系の単色で印刷します。

〔ゼブラ〕と違い、6 色 (CX 350) または 4 色 (CX 320) すべてのインクを使って印刷します。

### 〔フォレスト〕

印刷内容を緑色系の単色で印刷します。

〔ゼブラ〕と違い、6 色 (CX 350) または 4 色 (CX 320) すべてのインクを使って印刷します。

### 〔シャウト〕

印刷内容を黄色系の単色で印刷します。

〔ゼブラ〕と違い、6 色 (CX 350) または 4 色 (CX 320) すべてのインクを使って印刷します。



### 【ノスタルジー】

印刷内容をセピア色系の単色で印刷します。

【ゼブラ】と違い、6色（CX 350）または4色（CX 320）すべてのインクを使って印刷します。



- 【ゼブラ】を選んだ場合、【詳細設定】はグレー表示になり、使用できません。
- 【単色指定】チェックボックスのチェックを外すと、単色設定値はすべてグレー表示になり、使用できません。

## カラーバランスや濃度を調整する

【カラーバランス】では、カラーバランス（シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック各色の濃度）や濃度（全体の濃度）を調整できます。

1

【詳細設定】をクリックします。

【詳細設定】ダイアログボックスが表示されます。



2

【カラーバランス】のシアン、マゼンタ、イエロー、ブラックのスライダをドラッグし、濃度を決めます。

濃度は -50 ~ +50 の範囲で設定できます。

中央が標準（0）の位置で、左にスライドさせるほど淡くなり、右にスライドさせるほど濃くなります。



- スライダーの左側の入力ボックスをクリックし、キーボードから設定値を入力することもできます。また、スライダーの両端のボタンをクリックすると、現在の設定値から 1 ずつ増減します。

## 3

**【濃度】のスライダをドラッグし、全体の濃度を決めます。**

濃度は -50 ～ +50 の範囲で設定できます。

中央が標準（0）の位置で、左にスライドさせるほど淡くなり、右にスライドさせるほど濃くなります。



- スライダーの左側の入力ボックスをクリックし、キーボードから設定値を入力することもできます。

## 4

**【OK】をクリックします。**

カラーバランスと濃度が設定されます。



- [単色指定] で [ゼブラ] を選んだ場合、[詳細設定] はグレー表示になり、使用できません。
- カラーバランスと濃度を標準の設定「0」に戻す場合は、[標準に戻す] をクリックします。

### 3.5 [ユーティリティ] シートを利用する

[ユーティリティ] シートでは、プリンタのメンテナンスや、プリンタの節電機能を設定します。ステータスマニタを起動するときにも、[ユーティリティ] シートを開きます。



- (1) **クリーニング** → 通常のクリーニングを行う (P.83)  
プリントヘッドをクリーニングします。
- (2) **クリーニング(強力)** → 強力なクリーニングを行う (P.85)  
より強力なクリーニングを行います。
- (3) **ヘッド位置調整** → 5.2 ヘッド位置調整を行う (P.86)  
プリントヘッドの位置ずれを調整します。
- (4) **スリープ**  
スリープ状態に切り替えます。
- (5) **スリープタイマ設定**  
スリープ状態に切り替える時間を設定します。
- (6) **インク残量警告表示リセット**  
→ 5.4 インク残量警告表示をリセットする (P.97)  
正しいインク残量メッセージに直します。
- (7) **ステータスマニタ起動** → 4.1 ステータスマニタを表示する (P.72)  
ステータスマニタを表示します。
- (8) **特殊設定**  
特殊な設定を行います (通常は使用しません)。



- [ユーティリティ] シートを開くときは、Windows の [ スタート ] メニューからプリンタの [ プロパティ ] ダイアログボックスを表示します。アプリケーションソフトの中からプリンタのプロパティを表示した場合は、[ ユーティリティ ] シートが表示されません。

## スリープ状態に切り替える

[スリープ] を押して、本機をスリープ状態に切り替えます。

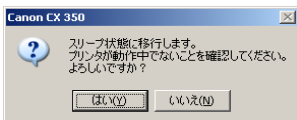


- 印刷中のときは、スリープ状態に切り替えることができません。
- 本体操作パネルの Ⓢ [STANDBY] キーを押してスリープ状態に切り替えることもできます。
- 通常状態で一定時間印刷が行われないと、自動的にスリープ状態に切り替わります。
- スリープ状態では、次のような場合に自動的に通常状態（印刷できる状態）に切り替わります。
  - ・ Ⓢ [STANDBY] キーが押されたとき
  - ・ コンピュータ側で印刷を開始したとき
  - ・ コンピュータ側からクリーニングなどの操作が行われたとき

## 1

[スリープ] をクリックします。

確認のメッセージダイアログボックスが表示されます。



## 2

[はい] をクリックします。

プリンタがシャットダウン処理を行った後、Ⓢ [STANDBY] ランプが消えてスリープ状態になります。

## スリープタイマの設定時間を変更する

〔スリープタイマ設定〕では、プリンタが一定時間操作されない場合や、コンピュータから印刷データが送られない場合に、自動的にスリープ状態に切り替える時間を設定します。

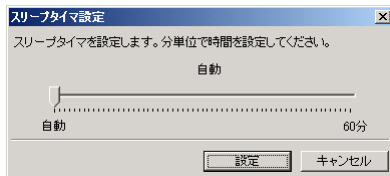


- 印刷中やエラーが発生している状態のときは、スリープタイマの設定時間を変更できません。
- 〔スリープタイマ設定〕の初期状態は、4 分に設定されています。

1

〔スリープタイマ設定〕をクリックします。

〔スリープタイマ設定〕ダイアログボックスが表示されます。



2

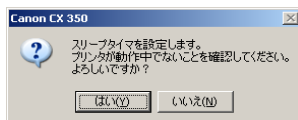
スライダをドラッグし、設定時間を変更します。

設定時間は〔1 ～ 60 分〕の範囲で設定できます。また、スライダを〔自動〕にすると、設定時間が 2 時間になります。

3

〔設定〕をクリックします。

確認のメッセージダイアログボックスが表示されます。



- 〔スリープタイマ設定〕ダイアログボックスを、プリンタドライバのインストール後に初めて表示すると、スライダは〔自動〕になっています。このとき〔自動〕(2 時間)に設定する場合は〔設定〕をクリックし、確認メッセージダイアログボックスを表示して手順 4 で〔はい〕をクリックします。画面表示は〔自動〕になっていますが〔はい〕をクリックしないと、初期状態 (4 分) に設定されたままで変更しません。

## 4

【はい】をクリックします。

スリープタイマの設定時間が変更されます。

## 特殊な設定を行う

【特殊設定】は、通常は設定する必要はありません。本機を特殊な環境でご利用になる場合に、印刷の不具合を調整することが必要なときに限り設定を行ってください。

【特殊設定】には、次の 2 項目があります。

### 【高精細文字モード】

黒文字のにじみなどで文字が太くなってしまうのを改善するときに選びます。

### 【低室温時印刷モード】

低温環境で本機を使用するときに選びます。

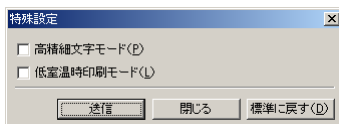


- 【特殊設定】は、印刷中やエラーが発生している状態のときは設定できません。
- 【特殊設定】は、通常はチェックを外してください。  
特に、【低室温時印刷モード】はインクを多く消費しますので、必要なときだけで使用ください。
- 【高精細文字モード】を使用すると、画像の黒い部分のバランスが悪くなったり、そのほかの画像の影響が出る場合があります。
- 【低室温時印刷モード】を使用しても、室温が 15℃よりも極端に低いときは、効果が十分でない場合があります。

## 1

【特殊設定】をクリックします。

【特殊設定】ダイアログボックスが表示されます。



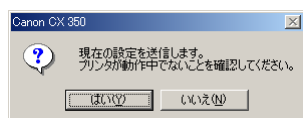
## 2

利用する特殊設定のチェックボックスをクリックし、チェックマークをつけます。

3

**【送信】 をクリックします。**

確認のメッセージダイアログボックスが表示されます。



4

**【はい】 をクリックします。**

設定した内容が有効になります。

5

**【閉じる】 をクリックします。**

# ステータスマニタの使いかた

ステータスマニタを使用すると、プリンタの状態や印刷の状況を知ることができます。

## 4.1 ステータスマニタを表示する

ステータスマニタの起動のしかた、表示のしかたを説明します。

### ステータスマニタを起動する

ステータスマニタを起動します。

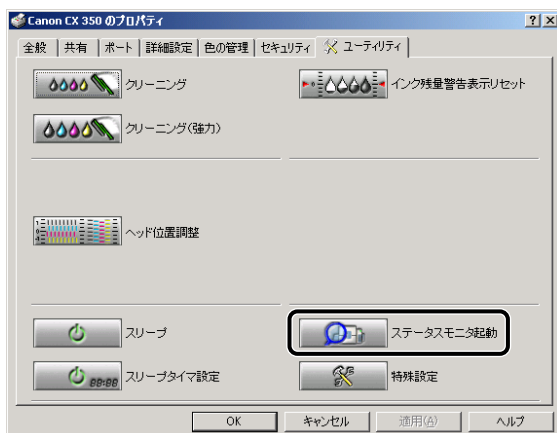


- ステータスマニタは、インストールした状態では印刷が開始されたときに自動的に起動し、ウィンドウが表示される設定になっています。
- ステータスマニタは、メニューの設定によって Windows を起動したときに自動的に起動させることもできます。
- 起動したステータスマニタのウィンドウは、通常はタスクバーやタスクトレイに入れ、エラーなどが発生した場合にウィンドウを表示させることもできます。

➔ ステータスマニタの起動と表示方法 (P.73)

## 1

【Canon CX 350 のプロパティ】または【Canon CX 320 のプロパティ】ダイアログボックスの【ユーティリティ】シートを表示し、【ステータスマニタ起動】をクリックします。





ステータスモニタが起動します。



## ステータスモニタの起動と表示方法

ステータスモニタの起動のしかたと、表示のしかたをメニュー機能で設定できます。

### ■起動のしかた

起動のしかたは、次のどちらかに設定できます。

#### [印刷中に起動]

印刷を開始したときに、ステータスモニタが自動的に起動して表示されます。

ステータスモニタは、印刷が終わると自動的に閉じます。(初期状態の設定)

#### [Windows と同時に起動]

Windows を起動したときに、ステータスモニタが自動的に起動します。

### ■表示のしかた

表示のしかたは、次のいずれかに設定できます。

#### 【ポップアップして起動】

ステータスマニタのウィンドウを画面に表示します。（初期状態の設定）

#### 【最小化で起動】

起動したステータスマニタのウィンドウを、最小化してタスクバーに収納します。

#### 【タスクトレイに入れて起動】

起動したステータスマニタを、タスクトレイの中にアイコン化された状態で表示します。

#### 【常に手前に表示】

他のアプリケーションソフトなどのウィンドウを開いても、ステータスマニタのウィンドウを常に手前に表示します。

表示のしかたは次の手順で設定します。

## 1

### 【起動】メニューを開き、起動のしかたを選びます。

【印刷中に起動】 または 【Windows と同時に起動】 をクリックします。

設定された項目の先頭に「●」が付きます。



## 2

**〔表示〕メニューを開き、表示のしかたを選びます。**

〔ポップアップして起動〕、〔最小化で起動〕または〔タスクトレイに入れて起動〕をクリックします。

設定された項目の先頭に「●」が付きます。



- ウィンドウが表示されたときに常に手前に表示させる場合は、〔常に手前に表示〕をクリックし、先頭にチェックを付けます。この設定は、〔表示〕メニューの他の項目とは無関係に設定できます。
- Windows XP/Windows 2000 では、〔常に手前に表示〕にチェックを付けると、ステータスマニタのウィンドウが半透明で表示されます。Windows Vista ではチェックを付けた後、ステータスマニタを再起動すると半透明になります。
- 〔最小化で起動〕または〔タスクトレイに入れて起動〕に設定しても、プリンタにエラーが発生すると自動的にポップアップし、メッセージを表示します。ポップアップされたウィンドウの最小化ボタンをクリックすると、再びタスクバーに収納できます。

## 4.2 ステータスマニタを利用する

ステータスマニタでは、現在の印刷状況を確認できるほか、プリンタの状態やインクの消費状態などを確認できます。



- (1) **プリンタ状態のイメージ**  
現在のプリンタの状態がイメージで表示されます。
- (2) **印刷状況**  
現在の印刷状況が表示されます。
- (3) **印刷中止**  
印刷を中止します。
- (4) **ステータス情報**  
現在のプリンタの状態を知らせるメッセージが表示されます。
- (5) **詳細なステータス表示**  
プリンタの状態を詳しく説明する別ウィンドウを開きます。
- (6) **インク情報**  
インクカートリッジの消費状況が表示されます。

## 印刷状況を見る

印刷の進行状況を確認できます。



### [ページ数]

印刷を指定した原稿のページ数が表示されます。

### [印刷部数]

指定した部数の印刷の進行状況が表示されます。

例えば、3 ページ原稿を 10 部ずつ印刷する設定を行った場合、1 ページ目を印刷する間は「0001/0010」～「0010/0010」と順に表示されます。

プログレスバーは、各ページごとの部数の処理状況を表しています。

### [印刷中止]

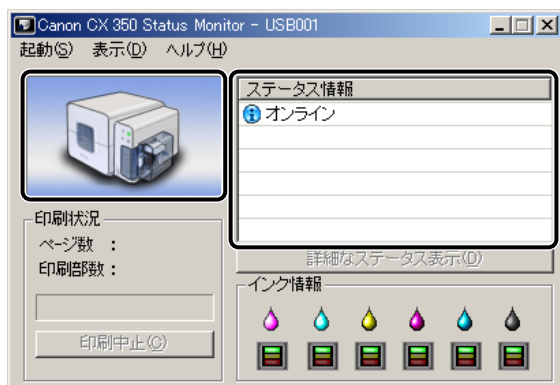
印刷を途中で中止する場合にクリックします。現在の印刷を行った後、中止します。



- [印刷中止] をクリックしても印刷が中止されない場合は、プリンタ本体の操作パネルの [RESET] キーを押して、プリンタのリセット処理を行ってください。

## ステータス情報を見る

プリンタの状態を確認します。



現在のプリンタの状態を3つのイメージで表示します。



通常の状態であることを示します。  
オンラインの状態であり、印刷を行うことができます。



警告が発生していることを示します。  
[ステータス情報] に警告メッセージが表示されますが、印刷を続けることができます。必要に応じて対処を行ってください。



エラーが発生していることを示します。  
[ステータス情報] にエラーメッセージが表示され、印刷を行うことができません。  
必要な対処を行ってください。



- ステータスマニタが最小化されている場合、またはタスクトレイに入っている場合は、エラーが発生した時点でステータスマニタのウィンドウが表示されます。

## ■ステータス情報を見る

ステータス情報には、4 つのアイコンとメッセージで、現在のプリンタの状態が表示されます。



### インフォメーション

プリンタに関する情報が表示されます。メッセージ内容を確認してください。



### 警告メッセージ

警告が発生しています。警告の内容をメッセージで確認してください。  
この場合、印刷を行うことはできます。



### オペレータコールエラー

お客様の操作が必要なエラーが発生しています。  
エラー内容をメッセージで確認し、必要な対処を行ってください。



### サービスマンコールエラー

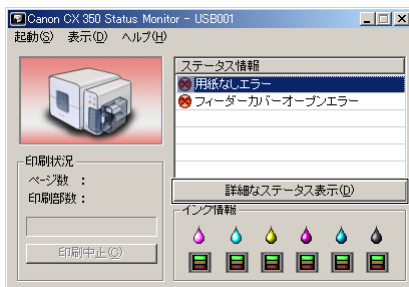
お客様の操作では復帰不可能なエラーが発生しています。  
一度メイン電源スイッチをオフにしてください。再度メイン電源スイッチをオンにしてもエラーが発生する場合は、エラー番号（4桁の数字）を控えてご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。



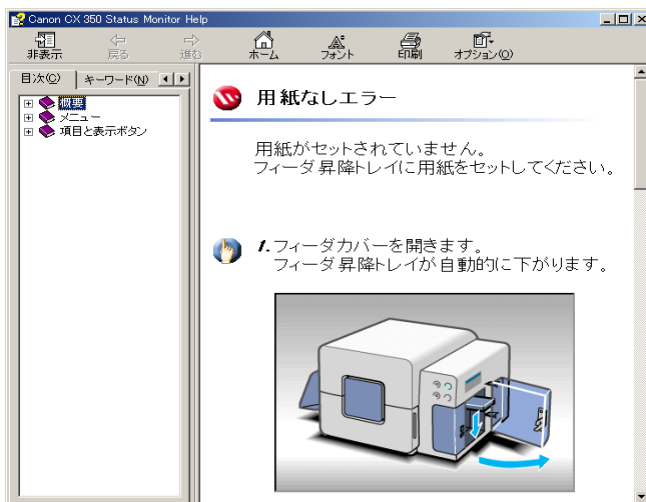
- 複数のエラーが同時に発生した場合は、重要度の高いエラーから順に「ステータス情報」に表示されます。

ステータス情報に表示されたメッセージについて、さらに詳しく知りたい場合は、次の手順で説明ウィンドウを表示して確認することができます。

## 1 説明を見るメッセージを選び、[詳細なステータス表示] をクリックします。



説明ウィンドウが開き、メッセージの説明と対処方法を確認できます。



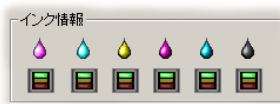
- [ステータス情報] の項目をダブルクリックしても、同様に説明ウィンドウを表示できます。



## インク情報を見る

インクカートリッジのインクの消費状況を確認します。

- ・CX 350 の場合は左から順にライトマゼンタ、ライトシアン、イエロー、マゼンタ、シアン、ブラックです。
- ・CX 320 の場合は左から順にイエロー、マゼンタ、シアン、ブラックです。



それぞれのインクカートリッジのインク残量を3つのイメージで表示します。



### インクあり

インクカートリッジにインクが十分あります。



### インク残量少

インクカートリッジのインクが残り少なくなっていますが、しばらくは印刷が続けられます。



### インクなし

インクカートリッジのインクがなくなりました。  
新しいインクカートリッジに交換してください。



禁止

- 「インクなし」エラーになる前に、新しいインクカートリッジに交換しないでください。ステータスマニタ上のインク残量メッセージを正しく表示できなくなります。万が一交換したときは、交換した直後に「インク残量警告表示リセット」を行ってください。

➔ 5.4 インク残量警告表示をリセットする (P.97)

- インクカートリッジは、交換するとき以外は抜き差ししないでください。部材の消耗を早める原因となります。



- 「インク残量少」になると、[ステータス情報] に警告メッセージが表示されます。また、「インクなし」になると、エラーメッセージが表示されます。
- [ステータス情報] に「インク残量少」メッセージが表示されたら、「インクなし」になる前に新しいインクカートリッジを用意してください。新しいインクカートリッジの入手方法については、ご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。

# メンテナンスのしかた

プリンタをいつもよい状態でお使いいただくためのメンテナンスについて説明します。

## 5.1 ヘッドをクリーニングする

印刷結果がかすれている場合は、プリントヘッドにホコリや紙粉が付着しノズルがつまっていることが考えられます。ノズルがつまったときはクリーニングを行ってください。

### 通常のクリーニングを行う

通常のクリーニングを行います。

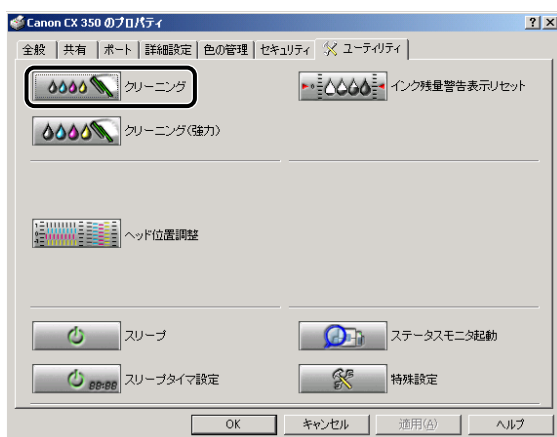


- インクなしエラーになっていないことを確認してください。
- 印刷中やエラーが発生している状態のときは、クリーニングはできません。
- クリーニングを行うとインクを消費します。必要なときにだけ行ってください。
- クリーニングを行っても状況が改善されない場合は、強力なクリーニングをお試ください。

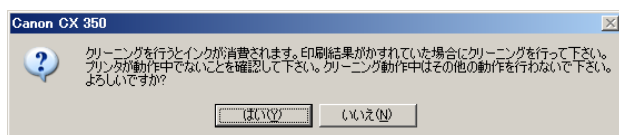
➔ 強力なクリーニングを行う (P.85)

1

【Canon CX 350 のプロパティ】または【Canon CX 320 のプロパティ】ダイアログボックスの【ユーティリティ】シートを表示し、【クリーニング】をクリックします。



確認のメッセージダイアログボックスが表示されます。



2

**【はい】 をクリックします。**  
クリーニングが行われます。

## 強力なクリーニングを行う

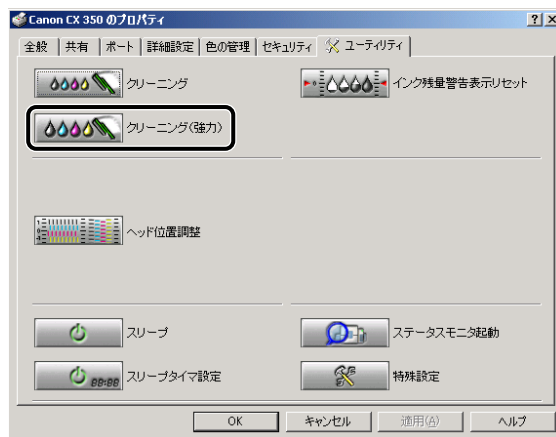
通常のクリーニングを行っても状況が改善しない場合は、強力なクリーニングを行ってください。



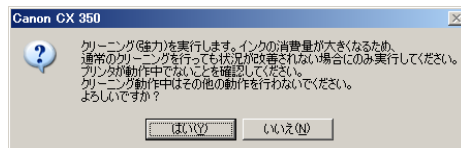
- インクなしエラーになっていないことを確認してください。
- 印刷中やエラーが発生している状態のときは、クリーニング（強力）はできません。
- クリーニング（強力）は、通常のクリーニングより多くのインクを消費します。必要なときにだけ行ってください。

1

【Canon CX 350 のプロパティ】または【Canon CX 320 のプロパティ】ダイアログボックスの【ユーティリティ】シートを表示し、【クリーニング（強力）】をクリックします。



確認のメッセージダイアログボックスが表示されます。



2

【はい】をクリックします。

クリーニング（強力）が行われます。



- クリーニング（強力）を行っても状況が改善しない場合は、プリントヘッドの消耗など、別の要因が考えられます。本機をご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。

## 5.2 ヘッド位置調整を行う

本機は、設置時に最良の状態で開催できるように調整されていますが、印刷結果に色ずれが見られるなどの場合は、ヘッド位置調整を行ってください。

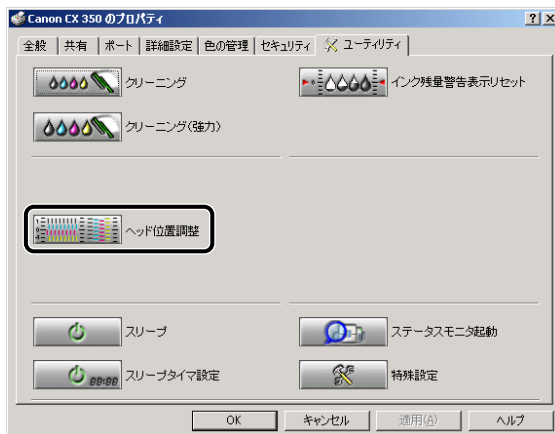
ヘッド位置調整では、ヘッド位置調整パターンを印刷し、パターンを見ながらヘッドの位置を調整します。



- 用紙がセットされていることを確認してください。
- インクなしエラーになっていないことを確認してください。
- 印刷中やエラーが発生している状態のときは、ヘッド位置調整はできません。

### 1

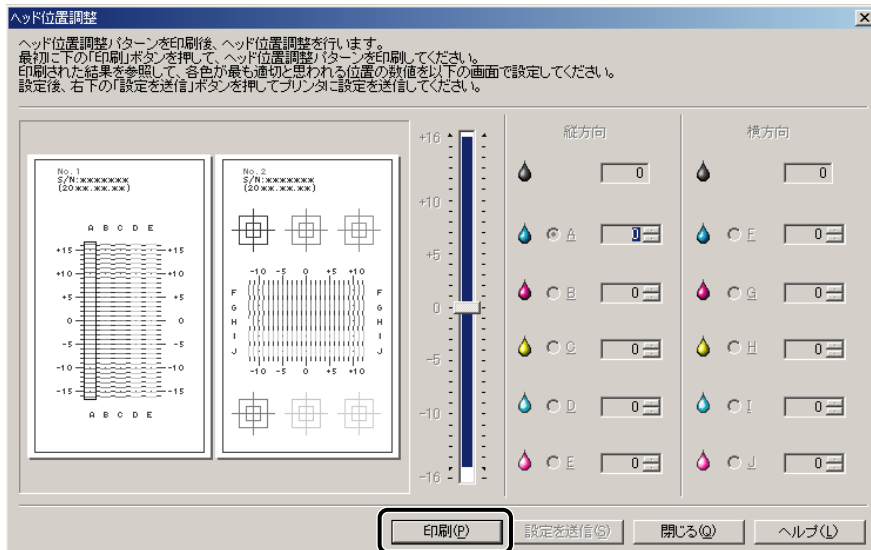
【Canon CX 350 のプロパティ】または【Canon CX 320 のプロパティ】ダイアログボックスの【ユーティリティ】シートを表示し、【ヘッド位置調整】をクリックします。



【ヘッド位置調整】ダイアログボックスが表示されます。

## 2

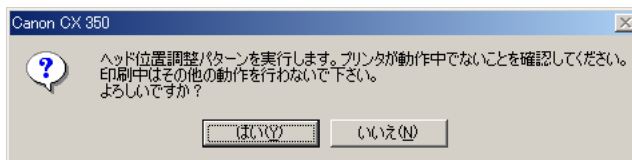
【印刷】をクリックします。



確認のダイアログボックスが表示されます。

## 3

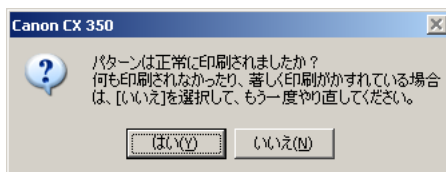
プリンタが動作中でないことを確認し、【はい】をクリックします。



2種類のヘッド位置調整パターンが印刷されます。

## 4

ヘッド位置調整パターンが印刷された場合は、【はい】をクリックします。



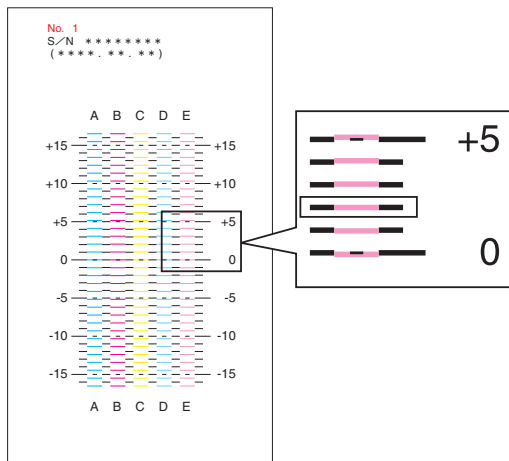
## 5

**印刷されたヘッド位置調整パターンを確認します。**

プリントヘッドから正常にインクが出ているか、プリントヘッド位置がずれていないかを確認してください。

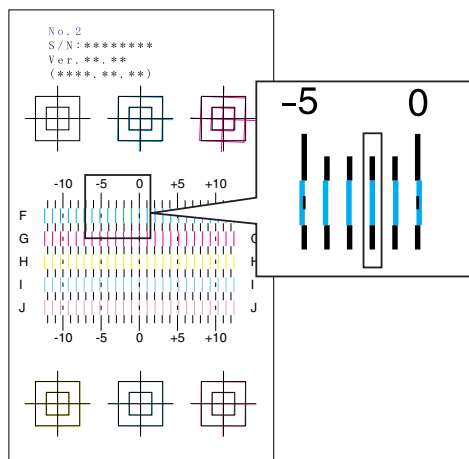
CX 350 の場合は [A] ～ [E] 列の各色について、CX 320 の場合は [A] ～ [C] 列の各色について、それぞれ横線が黒の目盛りの線と最もなめらかに（段差がなく）つながって見える線の数値を読みとります。

例えば、[E] が次のような場合は、「+2」になります。



CX 350 の場合は [F] ～ [J] 行の各色について、CX 320 の場合は [F] ～ [H] 行の各色について、それぞれ縦線が黒の目盛りの線と最もなめらかに（段差がなく）つながって見える線の数値を読みとります。

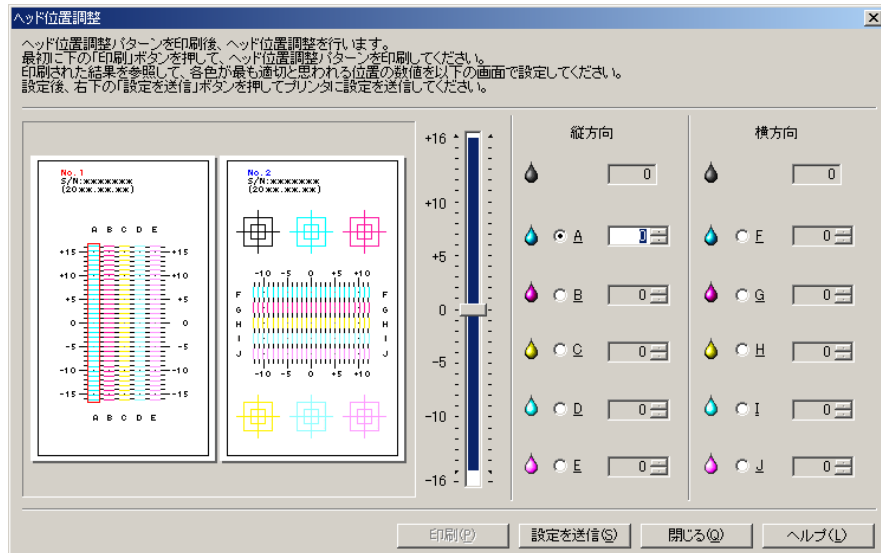
例えば、[F] が次のような場合は、「-2」になります。





## 6

## ヘッド位置を調整します。



## 縦方向の調整

〔縦方向〕の〔A〕をクリックし、スライダをドラッグして、手順 5 で〔A〕について読み取った数値に合わせます。

他の色についても同様に行います。



- CX 350 の場合は〔A〕～〔E〕、CX 320 の場合は〔A〕～〔C〕のパターンすべてについて調整を行ってください。
- 入力ボックスをクリックし、キーボードから数値を入力することもできます。
- 、 ボタンをクリックすると、現在の数値は 1 ずつ増減します。

## 横方向の調整

〔横方向〕の〔F〕をクリックし、スライダをドラッグして、手順 5 で〔F〕について読み取った数値に合わせます。

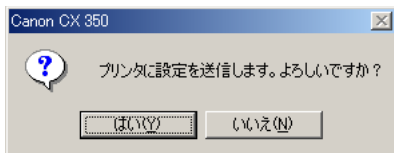
他の色についても同様に行います。



- CX 350 の場合は〔F〕～〔J〕、CX 320 の場合は〔F〕～〔H〕のパターンすべてについて調整を行ってください。
- 入力ボックスをクリックし、キーボードから数値を入力することもできます。
- 、 ボタンをクリックすると、現在の数値は 1 ずつ増減します。

7

【送信】 または 【設定を送信】 をクリックします。  
送信確認のメッセージダイアログボックスが表示されます。



8

【はい】 をクリックします。  
ヘッド位置が調整されます。

9

再度 【印刷】 をクリックしてヘッド位置調整パターンを印刷し、ヘッド位置が正しく調整されたことを確認します。

印刷された調整パターンを見て、各色の「0」の位置のパターンがつながっている場合は調整完了です。

パターンが切れていたり、離れて見える場合は、手順 5 ～手順 9 を繰り返して調整をやりなおしてください。

10

【閉じる】 をクリックします。  
ヘッド位置調整の終了を確認するメッセージが表示されます。

11

【はい】 をクリックします。



- 【ヘッド位置調整】 ダイアログボックスでは、ヘッド位置調整パターンを印刷しないと、調整できません。
- 調整範囲は縦方向 -16 ～ +16、横方向 -12 ～ +12 ですが、現在の設定状態によっては、すべての範囲から選べない場合があります。スライダの目盛りに表示される ▲、▼ の間で設定してください。
- ブラックインクのヘッド位置は、調整の基準値とするため、調整を行いません。数値は基準値 [0] と表示されていて、通常は入力できないようになっています。

## 5.3 インクカートリッジを交換する

インクの残量が少なくなると、ステータスモニタに「インク残量少」のメッセージが表示され、もうすぐインクがなくなことを知らせます。印刷は継続できますが、インクがなくなると「インクなしエラー」メッセージが表示されます。

インクカートリッジは CX 350 の場合はライトマゼンタ (LM)、ライトシアン (LC)、イエロー (Y)、マゼンタ (M)、シアン (C)、ブラック (Bk) の 6 つ、CX 320 の場合はイエロー (Y)、マゼンタ (M)、シアン (C)、ブラック (Bk) の 4 つがあります。ステータスモニタに表示されたメッセージを確認し、インクがなくなった色のインクカートリッジを交換します。



禁 止

- 「インクなし」エラーになる前に、新しいインクカートリッジに交換しないでください。ステータスモニタ上のインク残量メッセージを正しく表示できなくなります。万が一交換したときは、交換した直後に「インク残量警告表示リセット」を行ってください。

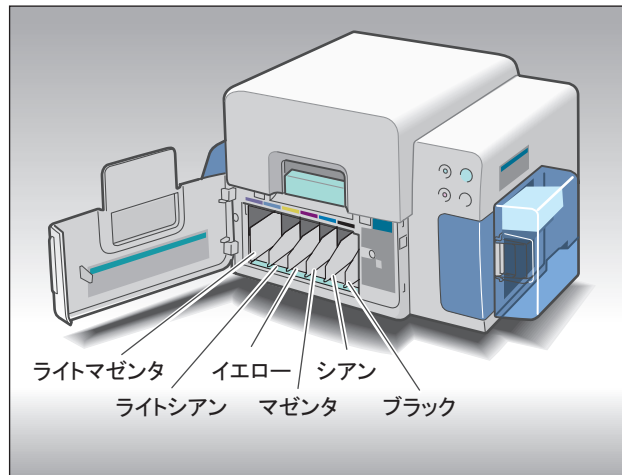
### ➔ 5.4 インク残量警告表示をリセットする (P.97)

- インクカートリッジは、交換するとき以外は抜き差ししないでください。部材の消耗を早める原因となります。



- ステータスモニタに「インク残量少」メッセージが表示されてもしばらくは印刷できますので、インクがなくなるまでそのまま使用してください。「インクなし」エラーメッセージが表示されてから新しいインクカートリッジに交換してください。
- 「インク残量少」メッセージが表示されたら、「インクなし」エラーになる前に新しいインクカートリッジを入手してください。新しいインクカートリッジの入手方法については、本機をご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。
- 最適な印刷品質を保つため、インクカートリッジは本プリンタ用のカートリッジを使用してください。

- インクカートリッジの位置は、次のとおりです。



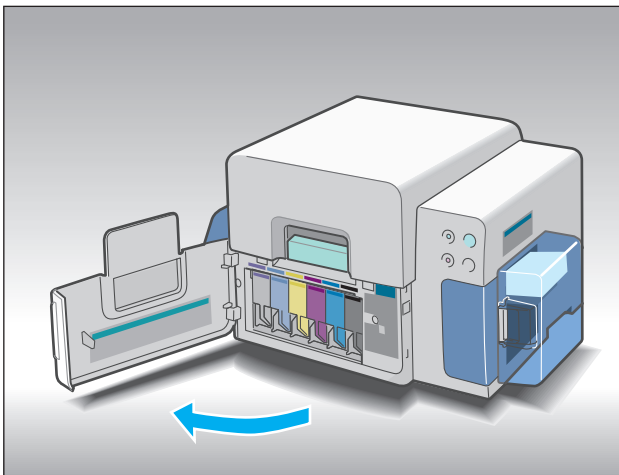
ライトマゼンタとライトシアンは、CX 350 でのみ使用できます。

セットする位置が違う場合は、インクカートリッジを差し込むことができません。無理にセットしないでください。

- インクカートリッジは、直射日光の当たらない場所に保管してください。
- インクカートリッジは、セットしてから 1 年を目安に使い切ることをお勧めします。また、インクカートリッジは使用するときまで開封しないでください。

## 1

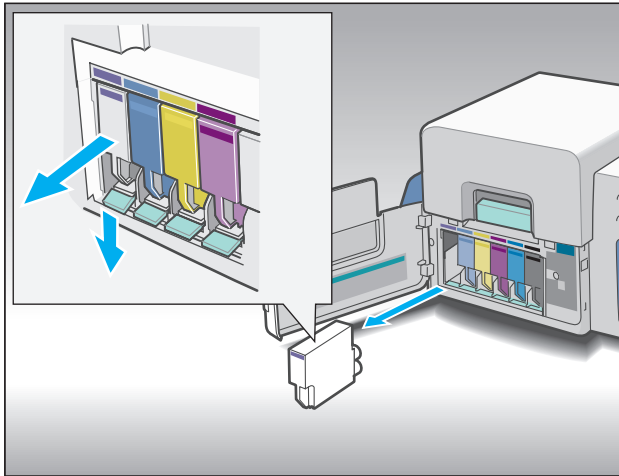
フロントドアを開きます。



2

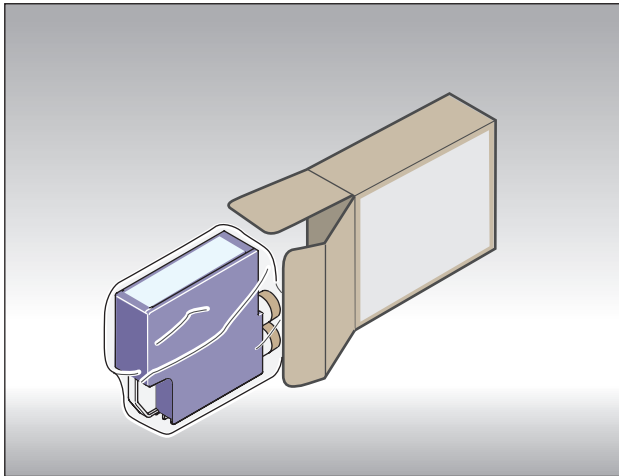
インクのなくなったインクカートリッジを取り外します。

下端のレバーを押し下げ、インクカートリッジを手前にゆっくり引き抜きます。



3

新しいインクカートリッジを袋から取り出します。



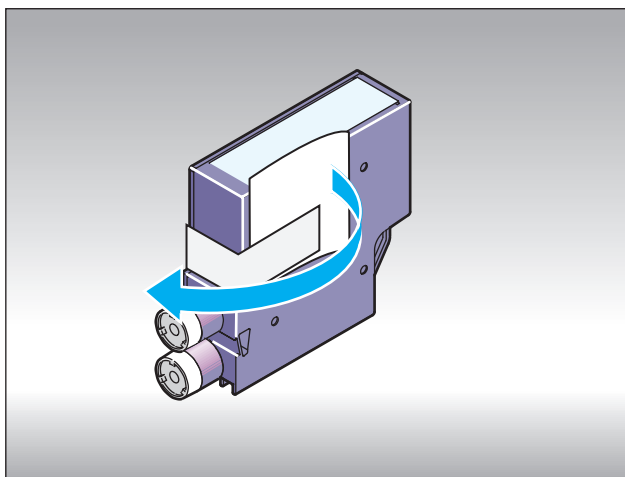
## 4

タグカードを持ち、タグカードごとテープを剥がします。



禁止

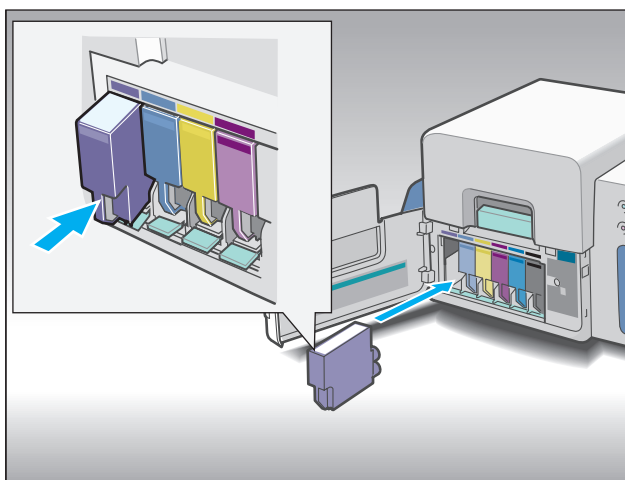
- 新しいインクカートリッジに交換するときはタグカードを持ち、テープを剥がしてからプリンタにセットしてください。剥がさずにセットすると、プリントヘッドの損傷の原因となります。



## 5

新しいインクカートリッジをセットします。

インクカートリッジは、下端のレバーのロックがかかるまで、確実に差し込んでください。



注意

- インクカートリッジの挿入部内には、針があり危険です。内部に指を入れたりしないでください。

## 6

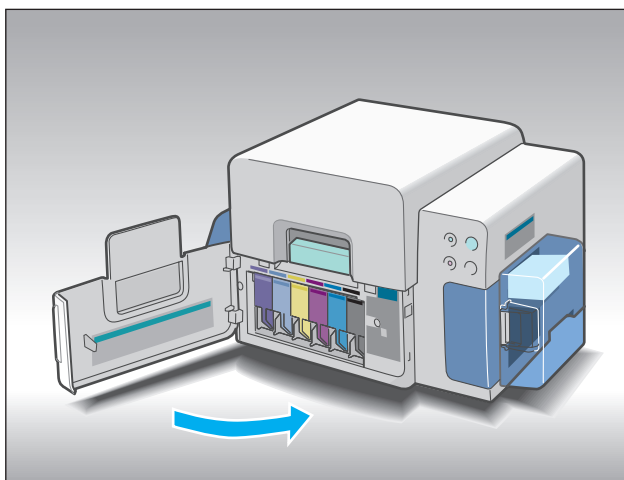
取り外したインクカートリッジをビニール袋に入れて、口を閉じます。



- 使用済みのインクカートリッジは、衣服や周囲を汚さないようにビニール袋などに入れてください。

## 7

フロントドアを閉じます。



- インクカートリッジの交換は速やかに行ってください。インクカートリッジを取り外した状態で長時間放置しないでください。



注 意

- インクカートリッジを強い力で押さえたり、落としたりしないでください。インクが漏れて衣服や周囲を汚すことがあります。



禁 止

- インクカートリッジをセットした後は、交換時期になるまで抜き差ししないでください。

## 使用済みインクカートリッジ回収のお願い



キヤノンでは、資源の再利用のために、使用済みインクカートリッジの回収を推進しています。

この回収活動は、お客様のご協力によって成り立っております。

つきましては、"キヤノンによる環境保全と資源の有効活用"の取り組みの主旨にご賛同いただき、回収にご協力いただける場合には、ご使用済みとなったインクカートリッジを、お近くの回収窓口までお持ちくださいますようお願いいたします。

キヤノンではご販売店の協力の下、全国に3000拠点をこえる回収窓口をご用意いたしております。

また回収窓口到店頭用カートリッジ回収スタンドの設置を順次進めております。

回収窓口につきましては、下記のキヤノンのホームページ上で確認いただけます。

キヤノンサポートページ [canon.jp/support](https://canon.jp/support)

事情により、回収窓口にお持ちになれない場合は、使用済みインクカートリッジをビニール袋などに入れて、地域の条例に従い処分してください。





## 5.4 インク残量警告表示をリセットする

ステータスマニタを利用すると、プリンタのインク残量をコンピュータの画面上で確認することができます。 → 4 ステータスマニタの使いかた (P.72)

本書では、[ インク情報 ] に表示されるインク残量イメージと、[ ステータス情報 ] に表示されるメッセージを確認し「インクなし」エラーになったら新しいインクカートリッジに交換することをおすすめしています。 → インク情報を見る (P.81)

万が一「インクなし」エラーになる前に新しいインクカートリッジに交換した場合、実状のインク残量と合わないメッセージが表示されることがあります。例えば、新しいインクカートリッジに交換してインクが十分にあるにもかかわらず、「インク残量少」メッセージが表示される場合があります。

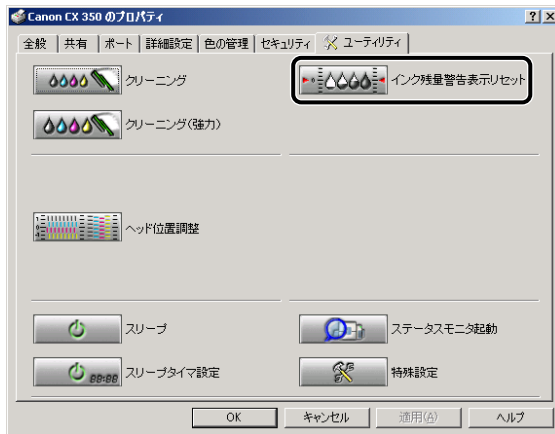
このように「インク残量少」メッセージが表示されているときに交換した場合は、交換した直後に「インク残量警告表示リセット」を行ってください。機械内部で検知したインク残量がリセットされて新しいインクカートリッジに交換した状態になり、実状のインク残量と合った正しいメッセージが表示されるようになります。



- 「インク残量警告表示リセット」は、ステータスマニタの[ インク情報 ] または [ ステータス情報 ] に「インク残量少」メッセージが表示されているときに、新しいインクカートリッジに交換した場合にだけ行います。[ インク残量少 ] のときに交換していなかったり、「インクなし」エラーのときに交換した場合は行いません。
- 「インク残量警告表示リセット」を行うタイミングは、新しいインクカートリッジに交換した直後です。交換した直後に行わないと、実状のインク残量と合わないメッセージが表示されることがあります。例えば、交換後しばらく使ってからリセットすると、インク残量が正しいタイミングでリセットされず、「インク残量少」メッセージが表示される前に「インクなし」エラーになる場合があります。

## 1

[Canon CX 350のプロパティ] または [Canon CX 320のプロパティ] ダイアログボックスの [ ユーティリティ ] シートを表示し、[ インク残量警告表示リセット ] をクリックします。



[ インク残量警告表示リセット ] ダイアログボックスが表示されます。



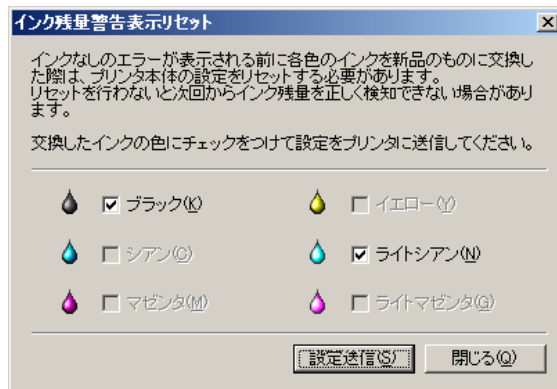
- ダイアログボックスが表示されず、「接続されているプリンタはインク残量警告表示リセット機能に対応していません。この機能はファームウェアのアップデートを行うことにより使用することができます。」メッセージが表示された場合は、ファームウェアのアップデートを行うと、この機能を利用できるようになります。

➔ ■ 「ファームウェアのアップデート」に関するメッセージが表示される (P.125)

## 2

新しいインクカートリッジに交換した色のチェックボックスをクリックし、チェックマークをつけます。

例えば、交換した色がブラックとライトシアンのときには、次のようにチェックマークをつけます。

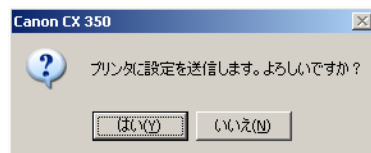


- 「インク残量少」警告になっている色のみチェックマークをつけることができます。
- チェックマークは、「インク残量少」警告メッセージが表示されているときに新しいインクカートリッジに交換したものだけに付けます。チェックマークをつけることができる色でも、交換していない色には付けません。
- 「インクなし」エラーのときに新しいインクカートリッジに交換した場合は、「インク残量警告表示リセット」を行う必要はありません。チェックマークをつけることもできません。(グレー表示)

## 3

[送信] または [設定送信] をクリックします。

確認のメッセージダイアログボックスが表示されます。



4

[ はい ] をクリックします。

プリンタに設定が送信されます。

送信が成功すると、メッセージダイアログボックスが表示されます。



5

[OK] をクリックします。

## 5.5 インク回収タンクを交換する

インク回収タンクは、プリントヘッドのクリーニングなどを行った際に使用したインクを回収するタンクです。インク回収タンクの回収できる容量が少なくなってくると、ステータスモニタに「インク回収タンク空き容量少」メッセージが表示されます。印刷は継続できますが、空き容量がなくなり満タンになると「インク回収タンク満タンエラー」メッセージが表示されます。メッセージが表示されたら、新しいインク回収タンクに交換してください。



禁止

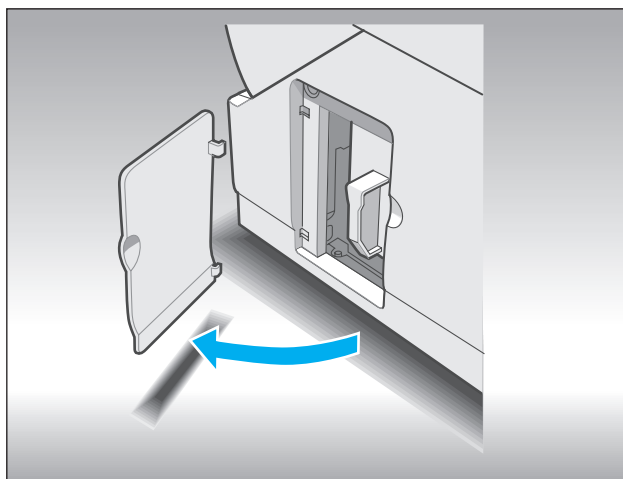
- インク回収タンクは、交換するとき以外は抜き差ししないでください。部材の消耗を早める原因となります。



- 「インク回収タンク空き容量少」メッセージが表示されても、しばらくは印刷できますが、「インク回収タンク満タンエラー」メッセージが表示される前に、新しいインク回収タンクを用意する必要があります。「インク回収タンク空き容量少」メッセージが表示されたら、新しいインク回収タンクを入手してください。新しいインク回収タンクの入手方法については、本機をご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。

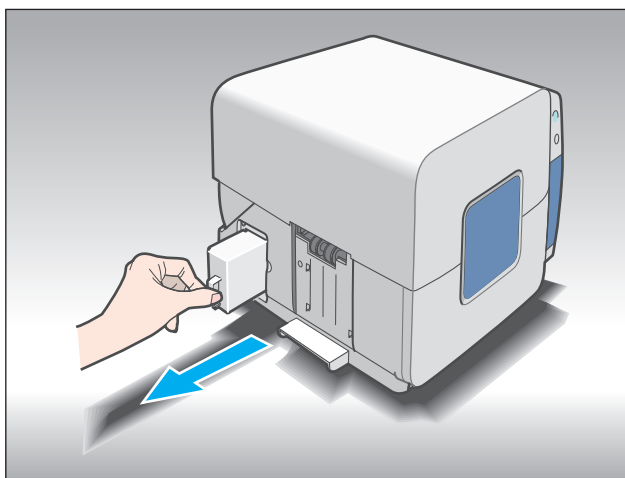
### 1

インク回収タンクカバーを開いて外します。



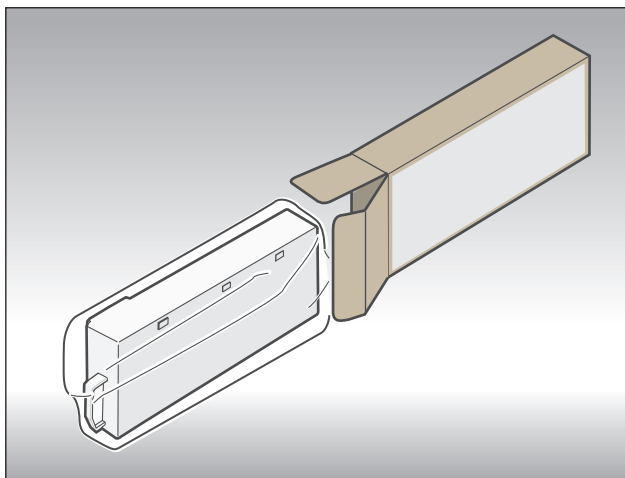
2

満タンになったインク回収タンクを取り外します。  
インク回収タンクを手前にゆっくり引き抜きます。



3

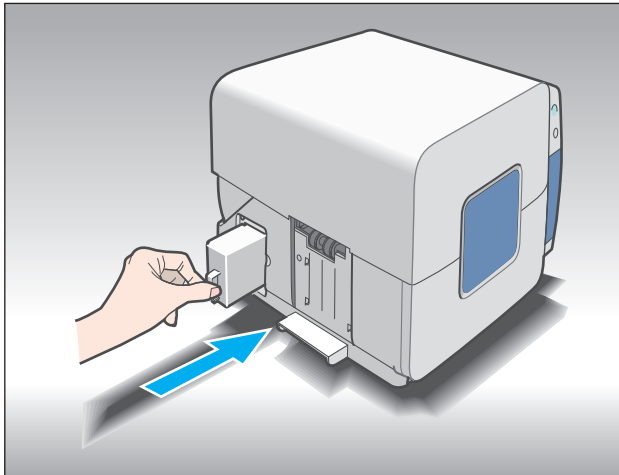
新しいインク回収タンクを袋から取り出します。



## 4

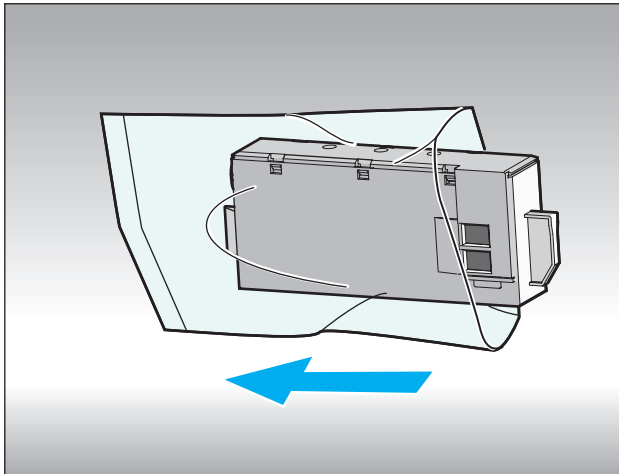
新しいインク回収タンクをセットします。

インク回収タンクは、奥まで確実に差し込んでください。



## 5

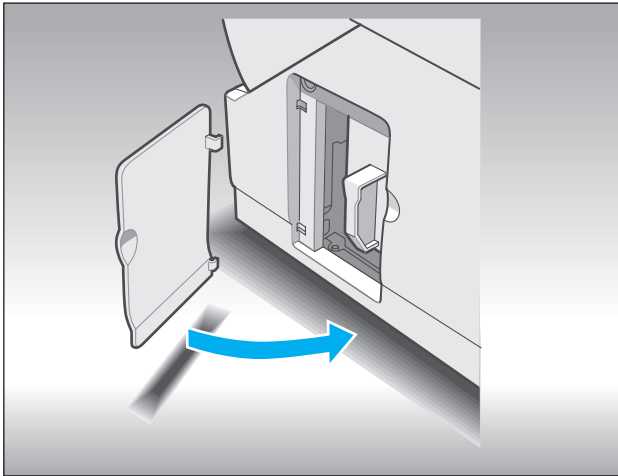
取り外したインク回収タンクをビニール袋に入れて、口を閉じます。



- 使用済みのインク回収タンクは、衣服や周囲を汚さないようにビニール袋などに入れてください。

## 6

インク回収タンクカバーを取り付け、カバーを閉じます。



- インク回収タンクの交換は速やかに行ってください。インク回収タンクを取り外した状態で長時間放置しないでください。



注 意

- 満タンになったインク回収タンクを振ったり、つよい力で押さえたりしないでください。インクが漏れて衣服や周囲を汚すことがあります。



禁 止

- インク回収タンクは、交換時期になるまで抜き差ししないでください。



## 使用済みインク回収タンク回収のお願い



キヤノンでは、資源の再利用のために、使用済みインク回収タンクの回収を推進しています。

この回収活動は、お客様のご協力によって成り立っております。

つきましては、" キヤノンによる環境保全と資源の有効活用 " の取り組みの主旨にご賛同いただき、回収にご協力いただける場合には、ご使用済みとなったインク回収タンクを、お近くの回収窓口までお持ちくださいますようお願いいたします。

キヤノンではご販売店の協力の下、全国に 3000 拠点をこえる回収窓口をご用意いたしております。

また回収窓口到店頭用カートリッジ回収スタンドの設置を順次進めております。

回収窓口につきましては、下記のキヤノンのホームページ上で確認いただけます。

キヤノンサポートページ [canon.jp/support](https://canon.jp/support)

事情により、回収窓口にお持ちになれない場合は、使用済みインク回収タンクをビニール袋などに入れて、地域の条例に従い処分してください。



## 5.6 プリンタの清掃

印刷を行っているとき、プリンタ内部がインクや紙粉で汚れてきます。プリンタの内部が汚れていると、印刷した用紙が汚れたり、用紙がうまく送られなくなることがあります。常に良好な状態で印刷できるように、本機を定期的に清掃してください。

本機の外装が汚れたときは、水または中性洗剤を含ませて硬く絞った布で拭いてください。



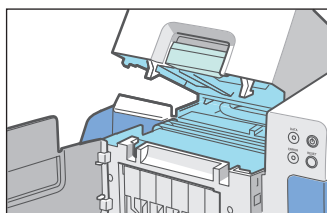
警告

- プリンタ内部を清掃するときは、水を含ませて硬く絞った布で汚れを落とし、その後、から拭きしてください。また、シンナー、ベンジン、アルコールなどの引火性溶剤は使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。

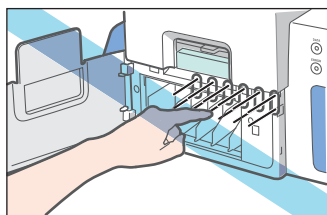


注意

- 清掃の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。誤って動作した場合、けがや故障の原因になることがあります。
- ヘッド周辺（下図のブルー部分）に手を振れないように注意してください。故障やけがの原因となります。



- インクカートリッジの挿入部内には、針があり危険です。内部に指を入れたりしないでください。故障やけがの原因となります。



## 1

メイン電源スイッチをオフにします。

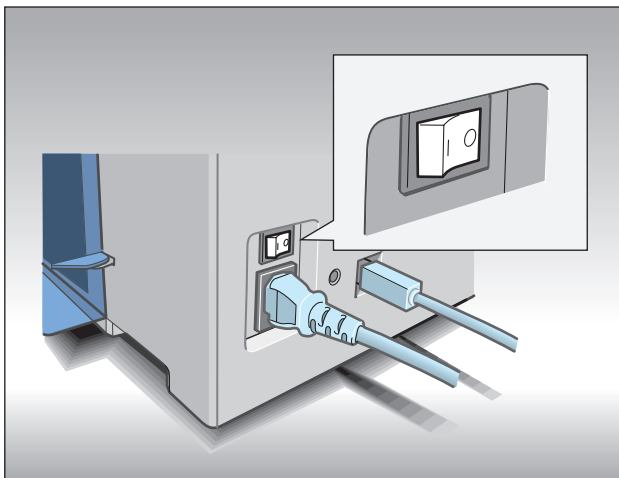


禁止

- 電源を切るときは、プリンタの動作が停止していることを確認し、操作パネルのⓈ [STANDBY] キーを押すなど、必ずスリープ状態にしてからメイン電源スイッチをオフにしてください。

➔ 電源を完全に切る (P.22)

- 印刷中にメイン電源スイッチをオフにしないでください。プリントヘッドの保護動作が正常に行われず、故障の原因となります。またインクが漏れて衣服や周囲を汚すことがあります。

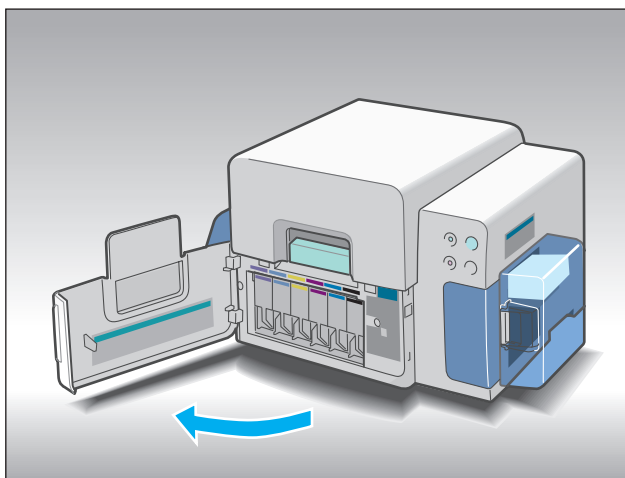


## 2

電源プラグをコンセントから抜きます。

## 3

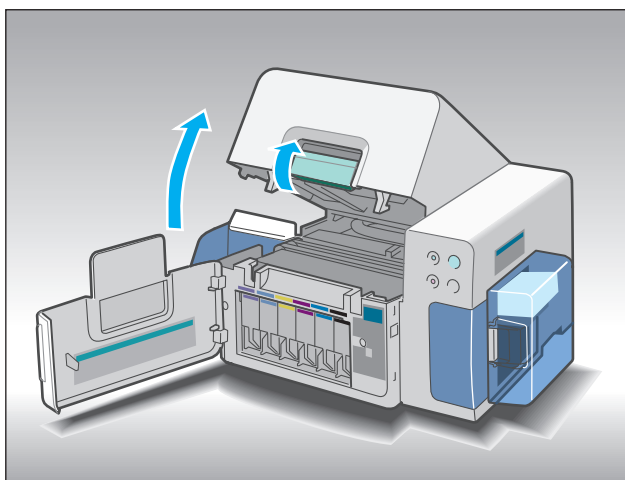
フロントドアを開きます。



## 4

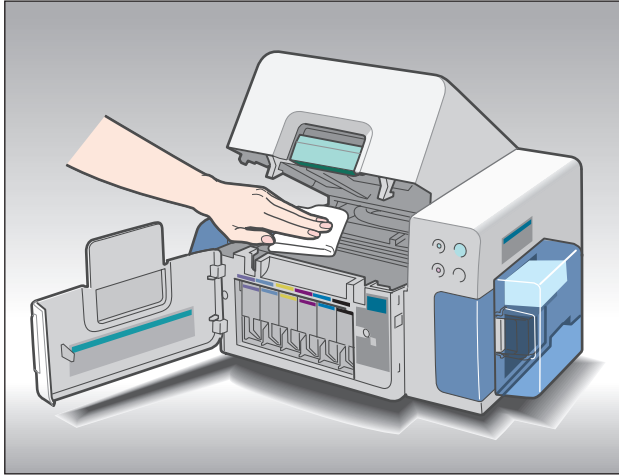
PHS ドアを開きます。

PHS オープンレバーを押し上げるようにして開けます。



## 5

水を含ませて硬く絞った布で、搬送路に付着したホコリや紙粉を拭き取ります。



- ペーパータオルやティッシュペーパーは使用しないでください。切れたかすや紙粉が本体に入ると、故障の原因となります。

# 困ったときは

プリンタが思いどおりに動作しないときや、正しく印刷できないときの対処方法について説明します。

この対処方法をお試しいただいてもうまくいかない場合は、本機をご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。

- ➔ 6.1 メッセージが表示されたとき (P.110)
- ➔ 6.2 用紙が詰まったとき (P.116)
- ➔ 6.3 思ったとおりに動作しないとき (P.119)
- ➔ 6.4 思ったとおりの印刷結果にならないとき (P.126)

## 6.1 メッセージが表示されたとき

プリンタの操作中や印刷中にトラブルが発生すると、ステータスモニタにエラーメッセージや警告メッセージが表示されます。



ステータスモニタでは、メッセージの詳しい説明と対処方法をウィンドウを表示して見ることができます。

- ➔ 4.2 ステータスモニタを利用する (P.76)

### ■エラーメッセージ

エラーメッセージ	エラーの内容	対処のしかた
PHS ドアオープンエラー	PHS ドアが開いています。	PHS ドアを確実に閉じてください。
フィーダカバーオープンエラー	フィーダカバーが開いています。	フィーダカバーを確実に閉じてください。
フロントドアオープンエラー	フロントドアが開いています。	フロントドアを確実に閉じてください。

エラーメッセージ	エラーの内容	対処のしかた
給紙エラー	用紙が給紙トレイから正しく給紙されませんでした。	フィーダカバーを開き、つまった用紙を取り除いてください。
(色) インクなしエラー	(色：LM/LC/Y/M/C/Bk) インクがなくなりました。  または、 インクカートリッジがセットされていません。	新しいインクカートリッジに交換してください。  ➔ 5.3 インクカートリッジを交換する (P.91)  インクが充分に残っているときは、インクカートリッジが正しくセットされていない場合があります。フロントドアを開き、正しくセットしてください。また、部材などインクカートリッジでないものがセットされている可能性がありますので、確認してください。
インク回収タンクセットエラー	インク回収タンクが正しくセットされていません。	インク回収タンクを正しくセットし直してください。  ➔ 5.5 インク回収タンクを交換する (P.101)
インク回収タンク満タンエラー	インク回収タンクが満タンになりました。	新しいインク回収タンクに交換してください。  ➔ 5.5 インク回収タンクを交換する (P.101)
用紙サイズエラー	給紙トレイにセットされている用紙が、アプリケーションソフトおよびプリンタドライバで設定されているサイズと異なります。	用紙サイズの設定を確認してください。

エラーメッセージ	エラーの内容	対処のしかた
用紙ジャムエラー	用紙がプリンタ内部で詰まりました。	<p>PHS ドアを開いて、詰まった用紙を取り除いてください。</p> <p>➔ 6.2 用紙が詰まったとき (P.116)</p> <p>スタッカが正しく取り付けられているか確認してください。</p> <p>➔ スタッカの取り付け (P.27)</p>
用紙積載オーバーエラー	給紙トレイに積載容量を超えて用紙をセットしています。	<p>フィーダカバーを開き、用紙積載ラベルの矢印が指す線を超えないようにセットしてください。</p> <p>➔ 用紙積載ラベル (P.25)</p>
用紙セットエラー	給紙トレイに用紙が正しくセットされていません。	用紙をもう一度セットし直してください。
用紙なしエラー	用紙がセットされていません。	給紙トレイに用紙をセットしてください。
双方向通信不可能	プリンタとコンピュータで正常に双方向通信ができていません。	<p>プリンタとコンピュータがしっかり接続されているか確認してください。プリンタとコンピュータを再起動して印刷してみてください。</p> <p>USB ハブを使用している場合は、ハブから外してプリンタとコンピュータを直接接続してから印刷してみてください。それでもエラーが表示される場合は、別の USB ケーブルに交換して印刷してみてください。</p>



エラーメッセージ	エラーの内容	対処のしかた
CX 350 以外の機種と接続されています または CX 320 以外の機種と接続されています	CX 350 または CX 320 プリンタ以外のプリンタと接続されています。 または、印刷先のポートの設定が合っていない。	プリンタとコンピュータがしっかり接続されているか確認してください。プリンタとコンピュータを再起動して印刷してみてください。 USB ハブを使用している場合は、ハブから外してプリンタとコンピュータを直接接続してから印刷してみてください。それでもエラーが表示される場合は、別の USB ケーブルに交換して印刷してみてください。 プリンタドライバの [プロパティ] を開き、印刷ポートの設定が合っているか確認してください。設定が合っていない場合は、Windows を終了し電源を切ってから、設定されているケーブルで接続し直してください。印刷ポートの確認のしかたは次のとおりです。  <b>Windows Vista/XP/2000 の場合</b> プリンタドライバの [プロパティ] を開いて [ポート] タブをクリックします。USB 接続の場合は、[印刷するポート] で [USBnnn] (n は数字) のようになっているか確認します。  <b>Windows Me の場合 (CX 350 のみ)</b> プリンタドライバの [プロパティ] を開いて [詳細] タブをクリックします。USB 接続の場合は、[印刷先のポート] で [LPT_USBn] (n は数字) のようになっているか確認します。
その他のエラーメッセージ **** 番	お客様の操作が必要なエラーが発生しました。(**** 部分は、エラーの種類によって表示される内容が異なります。)	エラーメッセージの内容に従って適切な対処を行ってください。 一度メイン電源スイッチをオフにしてください。再度メイン電源スイッチをオンにしてもエラーが発生する場合は、エラー番号 (4 桁の数字) を控えて、ご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。

エラーメッセージ	エラーの内容	対処のしかた
サービスマンコール エラー 28*2 番	お客様の操作では復帰不可能なエラーが発生しました。（* 部分は、エラーの種類によって表示される内容が異なります。）	一度メイン電源スイッチをオフにして、PHS ストップが使用時の方にセットされていることを確認してください。 再度メイン電源スイッチをオンにしてもエラーが発生する場合は、エラー番号（28*2 番）を控えて、ご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。
サービスマンコール エラー **** 番	お客様の操作では復帰不可能なエラーが発生しました。（**** 部分は、エラーの種類によって表示される内容が異なります。）	一度メイン電源スイッチをオフにしてください。再度メイン電源スイッチをオンにしてもエラーが発生する場合は、エラー番号（4 桁の数字）を控えて、本機をご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。

### ■警告メッセージ

警告メッセージ	警告の内容	対処のしかた
(色) インク残量少	(色：LM/LC/Y/M/C/Bk) インクが残り少なくなってきました。	しばらくは印刷を続けることができますが、インク切れになる前に新しいインクカートリッジをご用意ください。新しいインクカートリッジの入手方法については、本機をご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。 また、「インクなし」エラーになる前に新しいインクカートリッジに交換すると、インク残量メッセージを正しく表示できなくなり、インクが充分に残っていても「インク残量少」メッセージが表示され続けてしまいます。このような場合は、新しいインクカートリッジに交換した直後に「インク残量警告表示リセット」を行い、「インク残量少」メッセージを消してください。  ➔ 5.4 インク残量警告表示をリセットする (P.97)

警告メッセージ	警告の内容	対処のしかた
(色) ヘッドオーバーヒート	(色：LM/LC/Y/M/C/Bk) プリントヘッドの温度が高くなっています。	温度が下がり次第印刷を再開しますので、しばらくそのままお待ちください。
インク回収タンク内 空き容量少	インク回収タンクの 空 き 容 量 が 少 な く な っ て き て い ま す。	しばらくは印刷を続けることができますが、インク回収タンクが満タンになる前に新しいインク回収タンクをご用意ください。新しいインク回収タンクの入手方法については、本機をご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。
その他の警告メッ セージ **** 番	警告が発生しました。 (**** 部分は、警告の 種類によって表示さ れる内容が異なりま す。)	警告メッセージの内容に従って適切な対処を行ってください。

## 6.2 用紙が詰まったとき

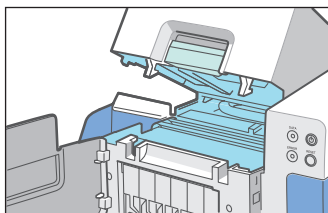
印刷中に紙詰まりが発生すると、印刷が中断され、ステータスマニタに「用紙ジャムエラー」というエラーメッセージが表示されます。

次の手順で、詰まった用紙を取り除いてください。



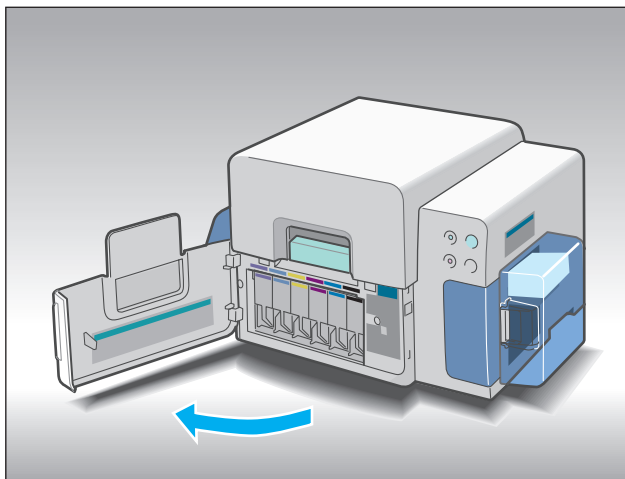
注 意

- ヘッド周辺（下図のブルー部分）に手を振れないように注意してください。故障やけがの原因となります。



1

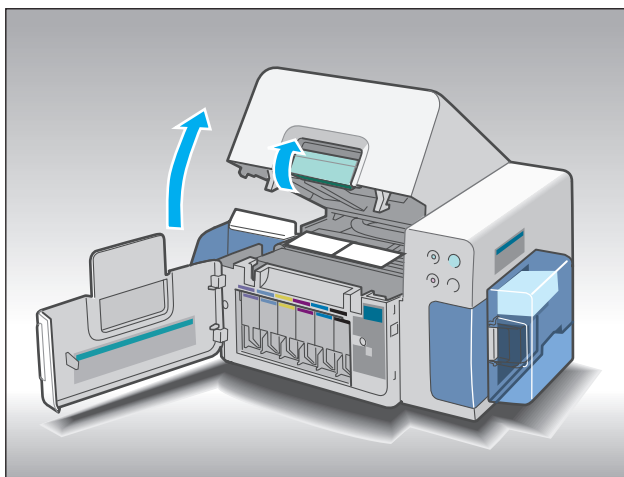
フロントドアを開きます。



2

**PHS ドアを開きます。**

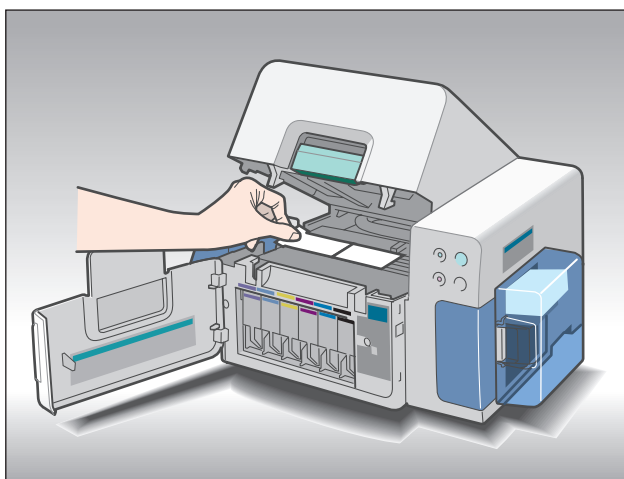
PHS オープンレバーを押し上げるようにして開けます。



3

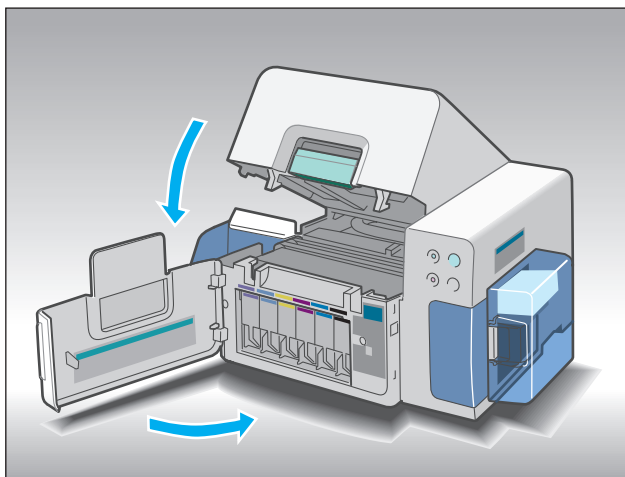
**搬送路で詰まっている用紙を取り除きます。**

用紙は、スタッカの方向にスライドさせると、取り除きやすいです。



## 4

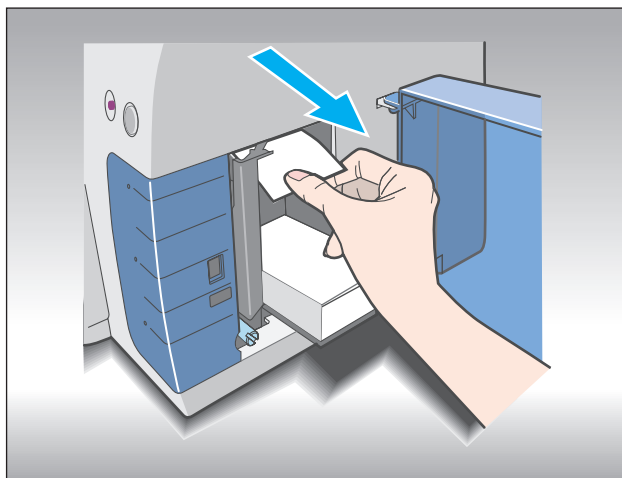
PHS ドアを閉じ、フロントドアを閉じます。



注 意



- 給紙トレイの移動中は、トレイに触れたり、下部に手を入れたりしないでください。けがや故障の原因になります。
- 給紙口に用紙が詰まっているときは、フィーダカバーを開いて用紙を取り出してください。



- スタッカが正しくセットされていないと、紙詰まりの原因となります。スタッカの状態を確認してください。

➔ スタッカの取り付け (P.27)

## 6.3 思ったとおりに動作しないとき

プリンタが思ったとおりに動かないときは、次のことを確認してください。

### ■電源が入らない

確認ポイント	対処のしかた
メイン電源スイッチがオフ（○の位置）になっていませんか	メイン電源スイッチをオン（I の位置）にしてください。
電源コードが外れていませんか	電源コードをしっかりと差し込んでください。
コンセントに電気が来ていますか	コンセントに他の電気製品を接続してみてください。正常に動作するときはプリンタ本体の故障が考えられますので、本機をご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。

### ■印刷が始まらない / 途中で止まる

確認ポイント	対処のしかた
フロントドアが開いていませんか	フロントドアを正しく閉じてください。
フィーダカバーが開いていませんか	フィーダカバーを正しく閉じてください。
パソコンと接続されていますか	パソコンとプリンタをUSBケーブルで正しく接続してください。
使用している USB ケーブルの全長は長すぎませんか	USBケーブルは3m以内でを使用することをお奨めします。
用紙をセットしましたか	用紙を正しくセットしてください。 → 1.4 用紙をセットする (P.23)
インクカートリッジはセットされていますか	インクカートリッジを正しくセットしてください。 → 5.3 インクカートリッジを交換する (P.91)
コンピュータ側で CX 350 または CX 320 のプリンタドライバを選んでいませんか	アプリケーションソフトで印刷を開始するとき、CX 350 または CX 320 プリンタを選択してください。
容量の大きな画像などを印刷していませんか	[DATA] ランプが点滅している場合は、データ処理中です。そのまましばらくお待ちください。

確認ポイント	対処のしかた
長時間連続して印刷を行っていませんか	印刷を長時間続けると、プリントヘッドの温度が高くなります。プリントヘッドを保護するため、ステータスマニタには「ヘッドオーバーヒート」メッセージが表示され、印刷動作が中断されます。しばらくすると印刷を再開します。
印刷先のポートの設定は合っていますか	<p>プリンタドライバの［プロパティ］を開き、印刷ポートの設定が合っているか確認してください。設定が合っていない場合は、Windows を終了し電源を切ってから、設定されているケーブルで接続し直してください。印刷ポートの確認のしかたは次のとおりです。</p> <p><b>Windows Vista/XP/2000 の場合</b>  プリンタドライバの［プロパティ］を開いて［ポート］タブをクリックします。USB 接続の場合は、［印刷するポート］で［USBnnn］（n は数字）のようになっているか確認します。</p> <p><b>Windows Me (CX 350 のみ)</b>  プリンタドライバの［プロパティ］を開いて［詳細］タブをクリックします。USB 接続の場合は、［印刷先のポート］で［LPT_USBn］（n は数字）のようになっているか確認します。</p>



確認ポイント	対処のしかた
データのスパールファイル形式がRAWになっていませんか	<p>スパールファイル形式によっては、うまく印刷されない場合があります。</p> <p><b>Windows Vista/XP/2000 の場合</b>            プリンタドライバの〔プロパティ〕を開いて〔詳細設定〕タブをクリックします。〔詳細な印刷機能を有効にする〕のチェックボックスをオフにし、〔印刷ドキュメントをスパールし、プログラムの印刷処理を高速に行う〕の〔全ページ分のデータをスパールしてから、印刷データをプリンタに送る〕にチェックをつけます。</p> <p><b>Windows Me の場合（CX 350 のみ）</b>            プリンタドライバの〔プロパティ〕を開いて〔詳細〕タブをクリックし、〔スパールの設定〕ボタンをクリックして〔プリンタスパールの設定〕ダイアログボックスを表示します。〔スパールデータ形式〕が〔RAW〕になっていて、かつ〔印刷ジョブをスパールし、プログラムの印刷処理を高速に行う〕で〔全ページ分のデータをスパールしてから、印刷データをプリンタに送る〕にチェックされていることを確認します。それでもうまく印刷されない場合は、〔1 ページ目のデータをスパールしたら、印刷データをプリンタに送る〕にチェックをつけてみてください。</p>
コンピュータ側でトラブルが発生していませんか	<p>コンピュータを再起動してから印刷してください。なお、起動したときに印刷ジョブが残っている場合は、削除してください。</p>

### ■用紙が正しく給紙されない

確認ポイント	対処のしかた
使用できない用紙を使用していないですか	用紙は 幅 49mm ～ 55mm、長さ 85mm ～ 91mm のサイズで、紙厚 0.21mm ～ 0.37mm のものを使用してください。 この範囲以外の用紙は使用しないでください。故障の原因となります。
用紙の先端が折れたり、カールしていませんか	用紙の先端が折れていたり、カールしていると正しく給紙されないことがあります。また、紙詰まりや故障の原因にもなります。
給紙トレイのガイドは用紙に合った位置で固定されていますか	ガイドがきつすぎたり、ゆるすぎたりすると、用紙がフィーダカバー内で詰まったり、斜行して紙詰まりの原因となります。  ➔ 1.5 用紙幅を調整する (P.29)
搬送路が汚れていませんか	搬送路が紙粉やインクで汚れていると、紙詰まりなどが起こりやすくなります。本機を定期的に清掃してください。  ➔ 5.6 プリンタの清掃 (P.106)

### ■ステータスマニタが起動しない

確認ポイント	対処のしかた
ステータスマニタの設定は合っていますか	ステータスマニタの設定によっては、印刷したりエラーが発生しないと起動しません。プリンタドライバの [ユーティリティ] シートを開いて [ステータスマニタ 起動] をクリックします。ステータスマニタが起動したら、ステータスマニタの設定を行ってください。  ➔ ステータスマニタの起動と表示方法 (P.73)

確認ポイント	対処のしかた
<p>プリンタとコンピュータで双方向通信ができていますか</p>	<p>プリンタとコンピュータで双方向通信ができていないと、印刷を開始してもステータスマニタは起動しません。</p> <p><b>Windows Vista/XP/2000 の場合</b>                      プリンタドライバの [プロパティ] を開いて [ポート] タブをクリックし、[双方向サポートを有効にする] にチェックされていることを確認してください。</p> <p><b>Windows Me の場合 (CX 350 のみ)</b>                      プリンタドライバの [プロパティ] を開いて [詳細] タブをクリックし、[スプールの設定] ボタンをクリックして [プリンタスプールの設定] ダイアログボックスを表示します。[このプリンタの双方向通信機能をサポートする] にチェックされていることを確認してください。</p> <p>上記の操作を行っても解決しない場合は、プリンタドライバをアンインストールし、再度インストールしてください。</p>

### ■「インク残量少」メッセージが消えない

確認ポイント	対処のしかた
<p>「インクなし」エラーになる前に、新しいインクカートリッジに交換していませんか</p>	<p>「インク残量少」メッセージが表示された後、「インクなし」エラーになる前にインクカートリッジを交換すると、インク残量メッセージを正しく表示できなくなります。万が一「インクなし」エラーになる前に新しいインクカートリッジに交換した場合は、交換した直後に「インク残量警告表示リセット」を行い、「インク残量少」メッセージを消してください。</p> <p>➔ 5.4 インク残量警告表示をリセットする (P.97)</p> <p>新しいインクカートリッジに交換してからしばらく使っている場合は「インク残量警告表示リセット」を行わず、そのまま使い続けて「インクなし」エラーメッセージが表示されるまでインクを使い切ってください。「インクなし」エラーになってから再び新しいインクカートリッジに交換すると、メッセージ表示はなくなります。</p> <p>また「インク残量警告表示リセット」を行った際に「接続されているプリンタはインク残量警告表示リセット機能に対応していません。この機能はファームウェアのアップデートを行うことにより使用することができます」メッセージが表示された場合は、ファームウェアのアップデートを行った後に、「インク残量警告表示リセット」を行ってください。ファームウェアのアップデート方法については、本機をご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。</p>

■「ファームウェアのアップデート」に関するメッセージが表示される

確認ポイント	対処のしかた
プリンタのファームウェアをアップデートする必要がありませんか	「この機能はファームウェアのアップデートを行うことにより使用することができます」という内容のメッセージが表示された場合は、ファームウェアをアップデートすると、プリンタの機能を改善したり、新しい機能を使うようにすることができます。ファームウェアのアップデートを行いたいときやファームウェアのアップデート方法については、本機をご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。

## 6.4 思ったとおりの印刷結果にならないとき

思ったとおりの印刷結果にならないときは、次のことを確認してください。

### ■意味不明の文字や画像が印刷される

確認ポイント	対処のしかた
USB ケーブルが外れかかっていますか	パソコンとプリンタをUSBケーブルで正しく接続してください。
コンピュータ側で CX 350 または CX 320 のプリンタドライバを選んでいますか	アプリケーションソフトで印刷を開始するとき、CX 350 または CX 320 プリンタを選択してください。

### ■印刷品質が悪い

確認ポイント	対処のしかた
印刷結果にすじ状の線が現れる	低温の環境で本機をお使いの場合は、プリンタドライバの [ユーティリティ] シートの [特殊設定] で [低室温時印刷モード] に設定して印刷します。  ➔ 特殊な設定を行う (P.70)
印刷結果に白く抜けているところがある	プリンタドライバの [ユーティリティ] シートを開いて [クリーニング] を行ってください。  ➔ 通常のクリーニングを行う (P.83)  [クリーニング] を行っても改善されない場合は、[クリーニング (強力)] をお試しください。  ➔ 強力なクリーニングを行う (P.85)  [クリーニング (強力)] を行っても状況が改善しない場合は、本機をご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。
印刷結果がかすれている	上記の確認ポイント「印刷結果にすじ状の線が現れる」および「印刷結果に白く抜けているところがある」の対処のしかたを確認してください。

確認ポイント	対処のしかた
印刷結果に色ずれが現れる	<p>プリンタドライバの[ユーティリティ]シートを開いて[ヘッド位置調整]を行ってください。</p> <p>→ 5.2 ヘッド位置調整を行う (P.86)</p> <p>低温の環境で本機をお使いの場合は、プリンタドライバの[ユーティリティ]シートの[特殊設定]で[低室温時印刷モード]に設定して印刷します。</p> <p>→ 特殊な設定を行う (P.70)</p>
黒い字が太く印刷される 黒い文字のインクがにじんでいるように見える	<p>プリンタドライバの[ユーティリティ]シートの[特殊設定]で[高詳細文字モード]に設定して印刷します。</p> <p>→ 特殊な設定を行う (P.70)</p>
全体的にきれいに印刷されない	<p>キヤノン製の指定用紙をセットしているか確認してください。</p> <p>セットしている用紙の裏表を確認してください。両面印刷用の用紙でない場合は、裏面に印刷すると正しい印刷品質が得られません。</p>

## ■印刷された色がおかしい

確認ポイント	対処のしかた
印刷された色が画面と違う	<p>プリンタドライバの印刷設定の[色設定]シートを開いて[色調整]、[明るさ調整]、[レベル補正]などを調整してください。</p> <p>→ 3.4 [色設定]シートを利用する (P.59)</p> <p>また、お使いのコンピュータのコントロールパネルで、[画面のプロパティ]が正しく設定されているか確認してください。</p> <p>特にディスプレイの種類やガンマ係数の設定が間違っていると、正しい色がディスプレイに表示されません。</p>

確認ポイント	対処のしかた
以前使用していたカードプリンタと色合いが違う	<p>プリンタドライバの印刷設定の〔色設定〕シートを開いて〔色調整〕の設定を確認してください。</p> <p>➔ 原稿に合った色調整を選ぶ (P.60)</p> <p>Canon P-640C/P-660C/P660C II プリンタ、Canon P-100M プリンタ、P-400C/P-440C II / P-450D プリンタで印刷したときの色合いに近づけることができます。</p>
全体的にきれいに印刷されない	<p>キヤノン製の指定用紙をセットしているか確認してください。</p> <p>セットしている用紙の裏表を確認してください。両面印刷用の用紙でない場合は、裏面に印刷すると正しい印刷品質が得られません。</p>
画像が明るい / 暗い	<p>プリンタドライバの印刷設定の〔色設定〕シートを開いて〔明るさ調整〕、〔レベル補正〕を行ってください。</p> <p>➔ レベル補正を行う (P.63)</p>
画像の濃淡が薄い / 濃い	<p>プリンタドライバの印刷設定の〔色設定〕シートを開いて〔詳細設定〕で濃度調整を行ってください。</p> <p>➔ カラーバランスや濃度を調整する (P.65)</p>
画像がぼやけている	<p>プリンタドライバの印刷設定の〔色設定〕シートを開いて〔シャープネス〕を設定してみてください。</p> <p>➔ シャープネスをかける (P.63)</p>

## ■単色で印刷される

確認ポイント	対処のしかた
印刷設定で単色指定が行われていませんか	<p>プリンタドライバの印刷設定の〔色設定〕シートを開いて〔単色指定〕の設定を確認してください。</p> <p>➔ 単色で印刷する (P.64)</p>
アプリケーションソフトの設定が単色印刷になっていませんか	<p>アプリケーションソフトによっては単色印刷を設定できる場合があります。コンピュータ側でアプリケーションソフトの印刷設定をご確認ください。</p>



## 付録 -1 移動について

本機を別の場所に移動するときなどは、次の手順で正しく設置してください。

1

メイン電源スイッチがオン（「**|**」の位置）になっていることを確認します。  
オフになっているときは、メイン電源スイッチをオンにしてください。

2

フィーダカバーを開きます。  
給紙トレイが自動的に下がりますので、停止するまでお待ちください。



注 意

- 給紙トレイの移動中は、トレイに触れたり、下部に手を入れたりしないでください。けがや故障の原因になります。

3

給紙トレイから用紙を取り除き、フィーダカバーを閉じます。

4

Ⓢ [STANDBY] キーを押して、Ⓢ [STANDBY] ランプを消灯（スリープ状態）します。

5

メイン電源スイッチをオフ（「**○**」の位置）にします。



禁 止

- 電源を完全に切る場合は、必ずスリープ状態にしてからメイン電源スイッチをオフにしてください。

6

電源コード、アース線、USB ケーブル、スタッカを取り外します。

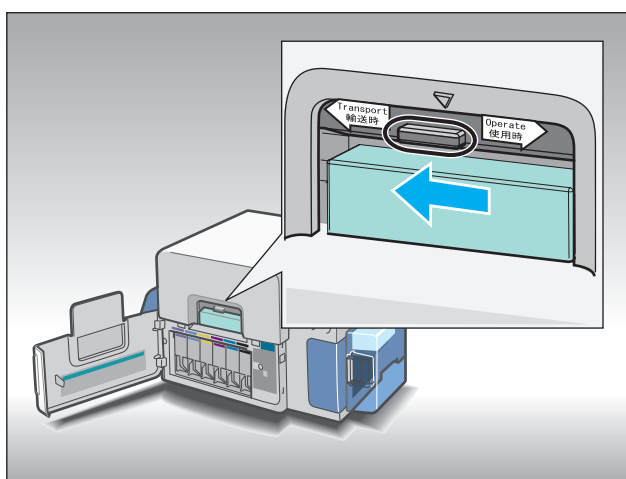
## 7

PHS ストップを輸送時位置に切り替えます。



禁 止

- PHS ストップを使用時位置にした状態で、本機を移動または輸送しないでください。プリントヘッドの損傷の原因となります。
- 本機を移動または輸送するときは、PHS ストップを輸送時側に切り替えてください。移動が済んだら使用時側に戻してください。

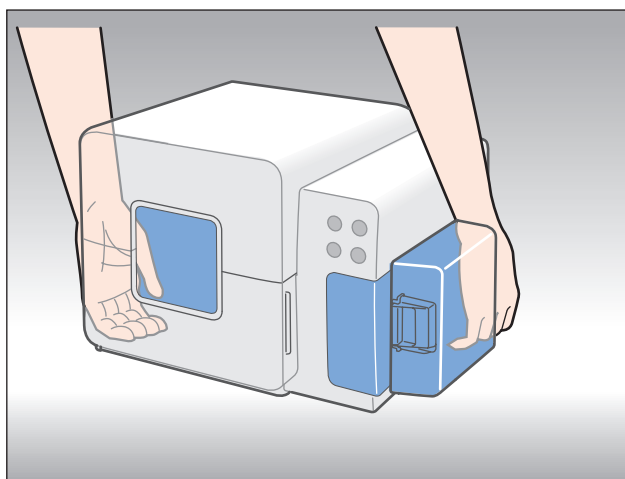


## 8

本体を移動します。

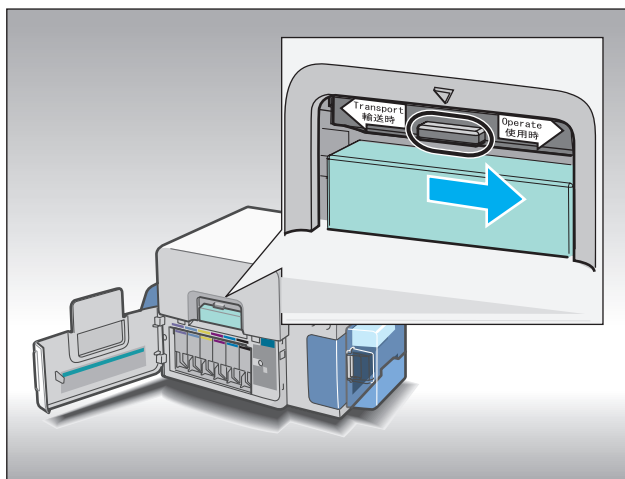


- 本機は約 13kg の重量があります。持ち上げるときは、正面からかかえるように持ち上げてください。無理な体勢で持ち上げようとすると、落としてけがをする原因となります。また、フィーダカバーやスタックを持つと破損する恐れがあり、落としたりしてけがの原因となります。



## 9

PHS ストップを使用時位置に戻します。



**10** 本機のコネクタに USB ケーブルを接続し、次にコンピュータ側を接続します。

**11** 電源コード、アース線、スタッカを取り付けます。

**12** メイン電源スイッチをオン（「**I**」の位置）にします。



- PHS ストップパを輸送時位置にした状態で電源をオンにした場合、エラーになり [ERROR] ランプが点灯します（ステータスモニタには、「サービスマンコールエラー 28\*2 番 復帰不可能なエラーが発生しました。」メッセージが表示されます）。この場合は、一度メイン電源スイッチをオフにしてください。PHS ストップパを使用時位置に戻してから、メイン電源スイッチをオンにしてください。

**13** ☺ [STANDBY] ランプが点灯（通常状態）したら、フィーダカバーを開き、用紙をセットします。



注 意

- 給紙トレイの移動中は、トレイに触れたり、下部に手を入れたりしないでください。けがや故障の原因になります。

**14** ヘッド位置調整を行います。



注 意

- 本機を移動または輸送するときは、インクカートリッジを取り出す必要はありません。移動する前にインクカートリッジを取り出してしまうと、インクカートリッジ挿入部の奥の針部からインクが漏れて衣服や周囲を汚すことがあります。

## 付録 -2 プリントドライバをアンインストールする

コンピュータにインストールしたプリントドライバのアンインストールのしかたを説明します。

ユーザーズガイドのアンインストールのしかたについては、スタートガイドをご覧ください。

1

**本機とコンピュータを接続している USB ケーブルを取り外します。**

印刷が行われていないことを確認し、プリンタの電源をオフにしてから USB ケーブルを取り外します。

➔ 電源を完全に切る (P.22)

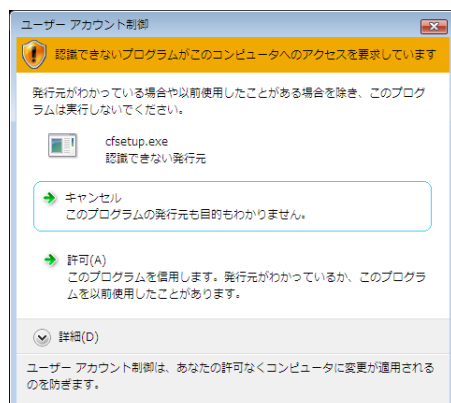
2

**〔スタート〕メニューの〔すべてのプログラム〕または〔プログラム〕から、〔Canon CX 350〕または〔Canon CX 320〕の〔プリントドライバのアンインストール〕を選びます。**

アンインストーラが起動します。



- 〔ユーザーアカウント制御〕ダイアログボックスが表示されることがあります。表示されたときは〔許可〕をクリックします。



## 3

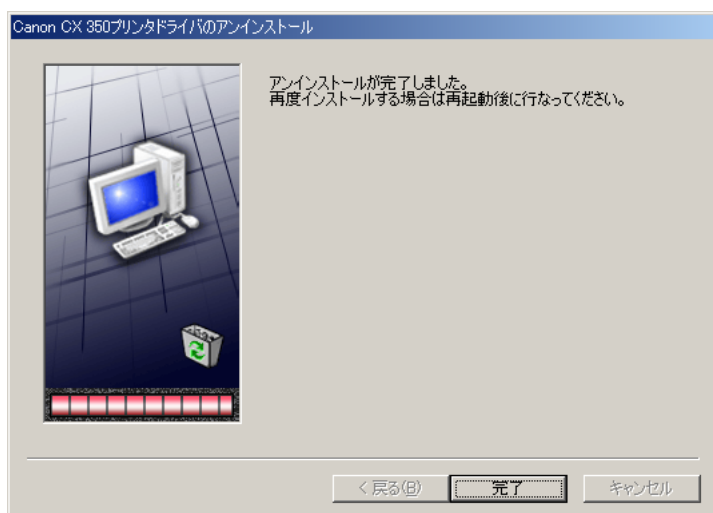
本機が接続されていないことを確認して【開始】をクリックします。



プリンタドライバがアンインストールされます。

## 4

【完了】をクリックします。



- 再度、プリンタドライバのインストールを行う場合は、コンピュータを再起動させてから行ってください。

# 仕様

## ■プリンタ本体

印刷方式	バブルジェット方式
印刷色	フルカラー
解像度	600dpi × 600dpi
印刷速度	40 枚 / 分
最大印字領域	幅 51mm × 長さ 88mm
印刷余白	上下 1.5mm 左右 2.0mm (用紙搬送方向に対して)
プリントヘッド	各色 1200 ノズル (有効ノズル数)
用紙	キヤノン製の指定用紙 (マットコート紙、光沢紙)
用紙サイズ	幅 49mm ~ 55mm、長さ 85mm ~ 91mm
用紙厚さ	0.21mm ~ 0.37mm
給紙容量	約 250 枚 (用紙厚さが 0.24mm のとき)
使用インク	CX 350 用インクカートリッジ イエロー (Y)、ライトマゼンタ (LM)、マゼンタ (M)、ライトシアン (LC)、シアン (C)、ブラック (Bk) CX 320 用インクカートリッジ イエロー (Y)、マゼンタ (M)、シアン (C)、ブラック (Bk)
インタフェース	USB2.0 Full-Speed (USB1.1 サポート)
稼働音	約 58dB (A)
設置環境	温度 15℃ ~ 30℃、湿度 10% ~ 80% (ただし結露なきこと)
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	CX 350 通常状態 120W (最大) スリープ状態 9W CX 320 通常状態 100W (最大) スリープ状態 9W
本体寸法	幅 465mm × 奥行き 320mm × 高さ 254mm
本体質量	約 13kg

- 本プリンタのインクは染料系です。プリント出力物は染料系インクの特性上、一般的に紫外線やオゾン、その他空気中の NOx、SOx や還元性ガスに触れる事により化学変化を起こし変褪色する場合があります。
- データによっては、きれいに印刷データを再現できない場合があります。

## ■環境基本性能

消費電力	待機時（スリープ状態）電力		9W
	電源 OFF 時（コンセント接続状態）電力		0W
資源効率	本体寸法		幅 465mm × 奥行き 320mm × 高さ 254mm
	本体質量		約 13kg
	再資源の使用		あり（再生プラスチック使用）
	リサイクル		インクカートリッジ、インク回収タンク実施
製品安全	含有有害物質	全構成部品	特定臭素系難燃剤（PBB、PBDE）不使用
		外装プラスチック	重金属（Pb、Hg、Cr（VI）、Cd）、ハロゲン系難燃剤不使用
	稼動音		約 58dB（A）
包装材	含有重金属（Pb、Hg、Cr（VI）、Cd）		不使用（外装箱）
	リサイクル		容器包装リサイクル法のシステムによる（2000 年 4 月より）
規格適合	国際エネルギースタープログラム、VCCI（クラス B）		

- 本機は印刷用紙の使用量削減に配慮し、両面印刷用の用紙を利用していただくことにより、裏面印刷にも対応しています。



# 索引

## Numerics

180 度回転 ..... 58

## D

[DATA] ランプ ..... 15

## E

[ERROR] ランプ ..... 15

## I

ICM ..... 61

## P

PHS オープンレバー ..... 16

PHS ドア ..... 13

PHS ユニット ..... 16

## R

[RESET] キー ..... 15

## S

[STANDBY] キー ..... 15

[STANDBY] ランプ ..... 15

## U

USB コネクタ ..... 14

## あ

アース線取り付け用ビス ..... 14

明るさ調整 ..... 59, 62

アンインストール (プリンタドライバ) ..... 133

## い

[色設定] シート ..... 59

色調整 ..... 59, 60

インクカートリッジ ..... 16

インクカートリッジの交換 ..... 91

インク回収タンク ..... 14

インク回収タンクカバー ..... 14

インク回収タンクの交換 ..... 101

インク残量警告表示リセット ..... 67, 97

インク情報 ..... 76, 81

印刷状況 ..... 76, 77

[印刷設定] ダイアログボックス ..... 38

[印刷設定] ダイアログボックス (アプリケーションから表示) ..... 38

[印刷設定] ダイアログボックス (スタートメニューから表示) ..... 41

印刷設定の削除 ..... 49

印刷設定の登録 ..... 46

印刷設定の読み込み ..... 50

印刷中止 ..... 36, 76, 77

印刷の向き ..... 52, 57

印刷の向きのプレビュー ..... 44, 52

印刷部数 ..... 44, 45

インフォメーション ..... 79

## え

エラーメッセージ ..... 110

## お

オペレータコールエラー ..... 79

## か

紙詰まり .....	116
カラーバランス .....	65

## き

[基本設定] シート .....	44
------------------	----

## く

クリーニング .....	67, 83
クリーニング（強力） .....	67, 85

## け

警告メッセージ .....	79
---------------	----

## こ

高精細文字モード .....	70
光沢紙 .....	56
コンピュータとの接続 .....	18

## さ

サービスマンコールエラー .....	79
サイズ変更ボタン .....	52

## し

シャープネス .....	59, 63
[詳細設定] ダイアログボックス .....	65
詳細設定ボタン .....	59
詳細なステータス表示 .....	76

## す

スタッカ .....	13, 14
ステータス情報 .....	76, 78
ステータス表示 .....	80
ステータスモニタ .....	72, 76
ステータスモニタ起動 .....	67
スリープ .....	67, 68
スリープ状態 .....	21
スリープタイマ設定 .....	67, 69

## せ

設定一覧 .....	44
設定内容 .....	44
[設定の登録と削除] ダイアログボックス .....	46
設定変更後の出力イメージ .....	59

## そ

操作パネル .....	13, 15
-------------	--------

## た

単色指定 .....	59, 64
------------	--------

## て

低室温時印刷モード .....	70
電源コネクタ .....	14
電源の入れ方 .....	20
電源の切り方（スリープ状態） .....	21
電源の切り方（電源オフ） .....	22

## と

登録 / 削除 .....	44
特殊設定 .....	67, 70

**の**

濃度 ..... 65

**は**

バージョン情報 ..... 51

搬送部 ..... 16

**ひ**

[標準設定] ..... 50

標準設定での出力イメージ ..... 59

標準に戻すボタン ..... 52, 59

**ふ**

フィーダカバー ..... 13

フィーダユニット ..... 13

プリンタ状態のイメージ ..... 76

プリンタドライバ ..... 133

プリンタの移動 ..... 129

プリンタの清掃 ..... 106

フロントドア ..... 13

**へ**

ヘッド位置調整 ..... 67, 86

ヘッド位置調整パターン ..... 86

**ま**

マットコート紙 ..... 56

**め**

メイン電源スイッチ ..... 14

**ゆ**

ユーザ定義 ..... 54

[ユーザ定義サイズ] ダイアログボックス ..... 54

[ユーティリティ] シート ..... 67

**よ**

用紙サイズ ..... 52, 53

用紙サイズのプレビュー ..... 44, 52

用紙ジャム ..... 116

用紙種類 ..... 52, 56

[用紙設定] シート ..... 52

用紙のセット ..... 23

用紙の長さ ..... 55

用紙の幅 ..... 55

用紙幅の調整 ..... 29

余白 ..... 31

**れ**

レベル補正 ..... 59, 63

【具体的な症状を記入してください】